3　救援物資の集積と分配

(1)　物資の流れ

宮古市の主要な幹線道路は海岸部を南北に走る国道45号と、岩手県内陸部の県庁所在地盛岡市とを結ぶ国道１０６号である。防潮堤を越えた津波により、国道45号は平坦部でガレキの散乱や路肩の崩落などで通行規制がかけられた。平常時の物流の流れからも東北自動車道や花巻空港のある県中央部から沿岸部へ物資を輸送するルートとなり、国道１０６号から支援物資が入ることとなった（図１）。

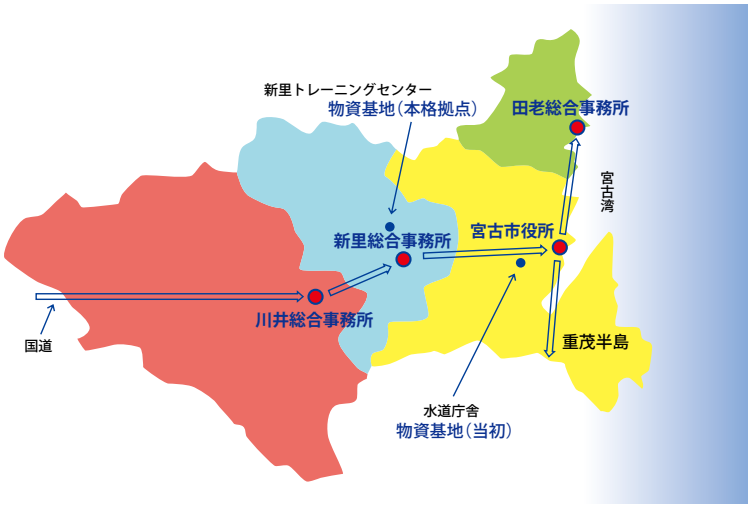

図１　物資の流れ

(2)　発災期（翌日～２日目）

震災当初３月11日の災害対策本部会議で、支援物資の集積場所を上下水道部の宮古浄化センター（水道庁舎）とし、川井・新里総合事務所の公用車とともに職員を配置した（図２）。また、22時には炊き出しのおにぎりが川井総合事務所から２４０パック、新里総合事務所から２００パックが準備され、宮古小学校・山口小学校に配送された。その後も炊き出しは継続され、12日早朝におにぎり１千５００個が配送された。宮古消防署ではおにぎり５００個を炊き出し、田老地区へ配送されたが、当初の８千を超える避難者数には足りなかった。

その後、13日午前にはおにぎり１万１千食が配布され、新里給食センターで電気が復旧し、一度に４千個の炊き出しが可能となった。

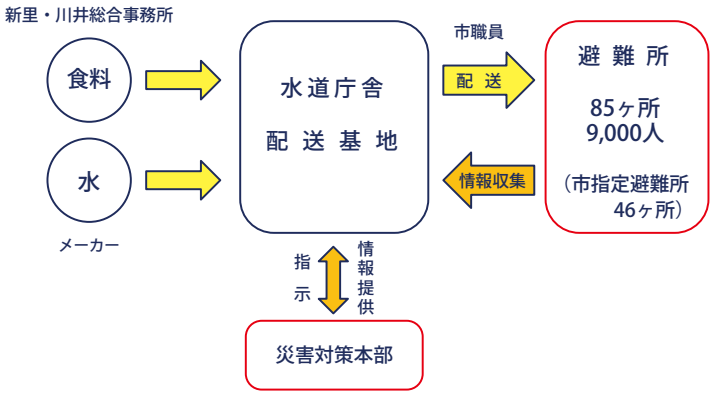

図２　物資の動き〈発災期〉－発災翌日－

(3) 模索期（3日目～11日目）

岩手県では3月12日から自衛隊及び㈳岩手県トラック協会の協力を得て、被災地への物資輸送を開始した（岩手県「岩手県東日本大震災津波の記録」2015年）。13日から支援物資を新里トレーニングセンターで受け入れることとなった。ここを大型トラックやヘリコプターにより大量になることが予想される物資の受入れ基地とし、水道庁舎を配送基地として対応した（図3）。自衛隊などの大型ヘリは、新里トレーニングセンター近くの新里中学校のグラウンドを発着所とした。

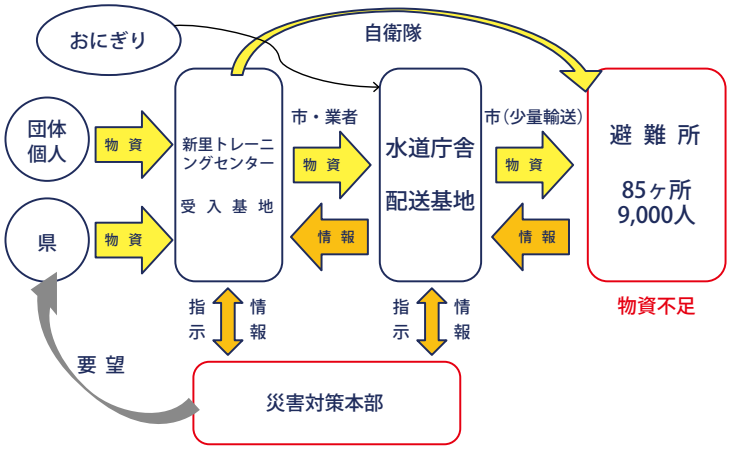

図3　物資の動き〈模索期〉－3日目～10日目－

(4) 安定期（11日目以降）

岩手県内では、被災地から支援物資が届かないとの声が聞かれるようになった。被災によって市町村による集積センターから避難所への運送が滞っていることが原因であった。本市でも元もと物資の運搬に適したトラックを多く保有していないこと、本庁舎が被災して公用車の大部分が流失していたことから、避難所への大規模な輸送は困難な状況であった。こうした被災市町村の状況に対応し、県では3月23日から、自衛隊と宅配業者によって物資が運送される体制がとられた（岩手県2015年）。

こうした措置により本市でも炊き出し及び支援物資の配送が自衛隊と宅配業者により行われることとなった（図4）。物資を受け入れる避難所では、自衛隊からの朝夕の炊き出しを受け取る際に、避難者数や炊き出しの必要数、物資の要望を記入した「避難所連絡票」を自衛隊員に渡すこととなった。これにより、避難所と災害対策本部、物資集積基地の間で情報・指示が行われるようになったのである。

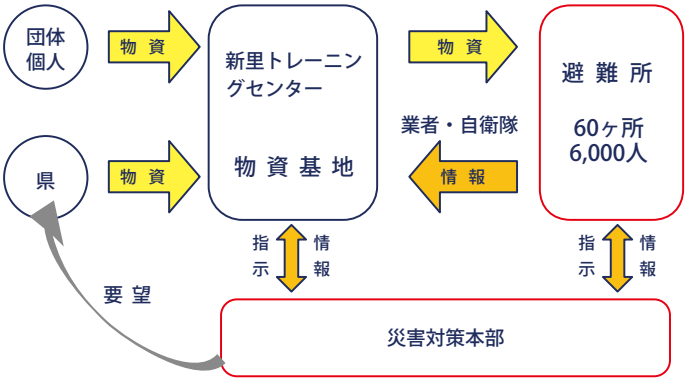

図4　物資の動き〈安定期〉－11日目以降－

写真１　水道庁舎に集積された支援物資
2011/3/18　宮古市（撮影）

写真２　新里トレーニングセンターに集積された支援物資
2011/3/24　宮古市（撮影）

(5)　燃料の不足と支援

市の対応策

未曾有の大規模災害による物流のストップは、被災者のみならず市民生活へも深刻な事態を招いた。スーパーの棚から食料が消え、ガソリンスタンドには長蛇の車列ができた。支援物資を運ぶ車両やガレキを撤去する重機の燃料確保は重要な課題となった。

市では3月15日に商業観光課長をトップに、産業振興部の各課の担当長で構成する、支援燃料受入チームを結成した。チームは、民間ガソリンスタンドの被災状況と、被害に会っていないスタンドにおけるタンク受入量についてレギュラー、ハイオク、軽油、灯油の種別ごとに調査した。また、民間のガソリンスタンドに対して、支援燃料の受入れの協力を要請した。

支援燃料の活用方針として、ガソリンは宮古消防署にタンクがあることから「救急車等の緊急車両」に、軽油は復旧道路の開削等のために行政・民間の「重機（ブルドーザ等）」に、灯油は「避難所の暖房用」や「火葬場の燃料」に、A重油は「ごみ焼却施設の燃料」に利用することにした。

3月16日から、ドラム缶での運搬形態を中心にして支援燃料が届き始めた。種別ごとに、消防署のタンク、市の協力要請に応えていただいたガソリンスタンドに運んで保管・活用した。陸上輸送以外に、船舶による支援もあった（航海訓練所練習船、海上自衛艦、国交省・水産庁の所管船舶など）。

燃料支援は4月28日まで続き、総量でガソリン4万200㍑、軽油47万4千730㍑、灯油7万5千400㍑、A重油8千500㌧の支援をいただいた。これを4月の燃料単価で計算すると、約7千880万円の支援額になった。（支援燃料の詳細は一覧表のとおり）プロパンガスについては、把握している範囲で住民等からの要望もなく、市として特別な対応はとらなかった。

支援燃料受入れの課題

① 震災から1か月ほどは、民間へのガソリンなどの供給が不足したことから、支援燃料の保管・運搬の際に、住民を刺激しないように夜間に行うことが多かった。

② ガソリンスタンドへの油の運搬システムが、タンクローリーから直接タンクに移設する方法であるため、ドラム缶から燃料を移す時に、どのスタンドにも電動ポンプがなく、手動（空気式）ポンプしか方法がなかったため時間がかかった。つまり、現在の燃料供給システムがドラム缶で運ばれてくることを想定していないということである。

③ タンクローリーで運搬されてきたものは、保管がタンクでしかできないため、民間のガソリンスタンドで保管してもらった。ただし、タンクに入れたままでは民間のガソリンスタンドも困るので、搬入量で管理することにして、住民等に販売してもかまわないという方法でタンクを借りざるを得なかった。こうした場合、ガソリン、灯油については困らなかったが、軽油については軽油引取税（地方税）

があるのでその対応に苦慮したが、最終的には県に減免措置を講じていただいている。

④　ドラム缶が大量の場合は、民間のガソリンスタンドで保管できないことから、港湾の埠頭施設に運び、ソーラス条約（SOLAS条約：海上における人命の安全のための国際条約）や被災車両の警備を理由に警備員を配置し、終日の管理体制をとった。

⑤　1回の最大支援量は、船舶による軽油6千733リットルであったが、この時は民間のタンクローリーや、建設業協会宮古支部を通じて重機を埠頭に総動員して燃料支援を受けた。このように支援の形態が様々であったために、支援を受けるたびにその対応策を考える必要があった。

まとめ

宮古市の場合、被災しなかったガソリンスタンドが多く、その協力を得て支援燃料を受け入れることができたため、支援の申出を断ったことはなかった。

しかし、陸前高田、山田、大槌のようにガソリンスタンドが国道45号沿いに集中し被害を受けた地域では、ドラム缶以外のタンクローリーなどによる支援に対応する方法がなく苦慮したと聞いている。

今回の事例を警鐘として、支援する側、支援を受ける側の双方について、燃料供給システムを構築する必要がある。

表1　宮古市への支援燃料　ストック・利用表

		総提供量（金額換算）	
ガソリン		(ℓ単価)	158.550
	提供量(額)	40.200	6,373,710
	直接利用量	0.000	(円)
	一時ストック量	40.200	
	消防署の緊急車両に利用中		
軽油		(ℓ単価)	134.895
	提供量(額)	474.730	64,038,703
	直接利用量	201.563	(円)
	一時ストック量	273.167	
	建設業の重機等を中心に利用中		
灯油		(ℓ単価)	99.750
	提供量(額)	75.400	7,521,150
	直接利用量	11.600	(円)
	一時ストック量	63.800	
	避難所の暖房用として利用中		
A重油		(ℓ単価)	99.750
	提供量(額)	8.500	847,875
	直接利用量	5.100	(円)
	一時ストック量	3.400	
	合　計	(総支援額)	78,781,438

写真3　藤原埠頭で支援燃料を受け取る
2011/4/4　宮古市（撮影）

写真4　ガソリン給油に並ぶ車両の列
2011/3/21　宮古市（撮影）

4　東日本大震災義援金

(1)　義援金の概要

東日本大震災の被災者に対し、全国の皆様から寄せられた義援金を、岩手県災害義援金配分委員会、宮古市災害義援金配分委員会においてそれぞれ決定した基準により交付している。義援金は、大きく次の２種類の取り扱いになっている。

①国・岩手県・日本赤十字社等に寄せられ宮古市に配分された義援金

震災にかかる義援金の多くは、災害対策基本法等で定められた「指定公共機関」と呼ばれる団体のうち、下記４団体が受け付けている。

【義援金受付４団体】　日本赤十字社、中央共同募金会、日本放送協会、ＮＨＫ厚生文化事業団

これらの団体から次ぎのような経路で義援金が配分される。

1　４団体が設けた有識者会議「義援金配分割合決定委員会」で被災した県等の被害状況に応じて義援金配分額を決定

2　被災県等が設けた有識者会議「義援金配分委員会」で被災状況に応じて各世帯への義援金配分額等を決定

3　被災市町村から被災者へ銀行口座振込等により配分

上記４団体以外が義援金をお預かりした場合は、最終的にこれらの団体へ送金することがほとんどである。時折、被災県の災害対策本部などへ送金する団体もあるが、この場合も上記の義援金に合算して配分される。

②　宮古市へ直接寄せられた義援金

上記①とは別に、特定の被災市町村（宮古市）へ、直接、義援金が届く場合がある。例えば、宮古市に昔住んでいたとか、思い入れがある場合などで、この場合も「宮古市義援金配分委員会」という有識者会議で、被害状況に応じて対象者や配分額を決定し、直接被災者へ配分している。

表１　義援金の交付取扱い状況について（宮古市・平成28年２月29日時点）

種類	単位	国・県等	市	交付金額
①死亡又は行方不明者見舞金	１人	1,011,048,000	57,860,000 円	1,068,908,000 円
②住宅の全壊	１世帯	5,376,111,000 円	306,636,000 円	5,682,747,000 円
③住宅の大規模半壊・半壊	１世帯	1,694,798,000 円	100,814,000 円	1,795,612,000 円
④入所施設の全壊	１人	28,000,000 円		28,000,000 円
⑤入所施設の大規模半壊・半壊	１人	5,288,000 円		5,288,000 円
⑥住宅損壊等見舞金（店舗等）	１事業主		64,750,000 円	64,750,000
⑦未成年者見舞金（孤児）	１人		1,800,000 円	1,800,000 円
⑧未成年者見舞金（遺児）	１人		7,600,000 円	7,600,000 円
⑨ひとり親世帯見舞金	１世帯		9,300,000 円	9,300,000 円
⑩介護（障害者）世帯見舞金	１世帯		19,400,000 円	19,400,000 円
⑪高齢者施設等入所者見舞金	１人		11,100,000 円	11,100,000 円
⑫災害障害見舞金	１人		40,000 円	40,000 円
⑬生活支援見舞金	１世帯		42,875,000 円	42,875,000 円
合計		8,115,245,000 円	622,175,000 円	8,737,420,000 円

(2) 義援金の交付

① 死亡又は行方不明者見舞金

災害により死亡された方、または行方不明者1人につき、ご遺族等に対して配分。交付を受ける方（申請者）は、原則として配偶者、子、父母、孫、祖父母で、これによりがたい場合は、次の順序になる。

1 死亡行方不明者と生計をともにしていた兄弟姉妹
2 死亡行方不明者と生計をともにしていた三親等内の親戚
3 死亡行方不明者の葬祭を行った親族

表２　①死亡又は行方不明者見舞金

受付区分	内容	金額
団体受付分及び岩手県	第１次配分金	500,000 円
	第２次配分金	815,000 円
	第２次配分金（追加１回目）	132,000 円
	第２次配分金（追加２回目）	73,000 円
	第３次配分金	100,000 円
	第３次配分金（追加１回目）	44,000 円
	第３次配分金（追加２回目）	59,000 円
	第３次配分金（追加３回目）	34,000 円
	第３次配分金（追加４回目）	23,000 円
	小計	1,780,000 円
宮古市	第１次配分金	50,000 円
	第２次配分金	25,000 円
	第３次配分金	20,000 円
	第４次配分金	4,000 円
	第５次配分金	3,000 円
	小計	102,000 円
合計		1,882,000 円

②・③ 住宅損壊等見舞金（住宅）・家屋損壊等見舞金

居住していた住宅に半壊以上、または半焼以上の損壊があった世帯に配分。1戸の住宅に複数の世帯が存在した場合は、被災当時に各世

表４　③居住していた住宅が半壊または半焼した世帯（大規模半壊を含む）

受付区分	内容	金額
団体受付分及び岩手県	第１次配分金	250,000 円
	第２次配分金	534,000 円
	第２次配分金（追加１回目）	66,000 円
	第２次配分金（追加２回目）	73,000 円
	第３次配分金	67,000 円
	第３次配分金（追加１回目）	25,000 円
	第３次配分金（追加２回目）	47,000 円
	第３次配分金（追加３回目）	23,000 円
	第３次配分金（追加４回目）	16,000 円
	小計	1,101,000 円
宮古市	第１次配分金	30,000 円
	第２次配分金	15,000 円
	第３次配分金	16,000 円
	第４次配分金	3,000 円
	第５次配分金	2,000 円
	小計	66,000 円
合計		1,167,000 円

表３　②居住していた住宅が全壊または全焼した世帯

受付区分	内容	金額
団体受付分及び岩手県	第１次配分金	500,000 円
	第２次配分金	815,000 円
	第２次配分金（追加１回目）	132,000 円
	第２次配分金（追加２回目）	73,000 円
	第３次配分金	100,000 円
	第３次配分金（追加１回目）	44,000 円
	第３次配分金（追加２回目）	59,000 円
	第３次配分金（追加３回目）	34,000 円
	第３次配分金（追加４回目）	23,000 円
	小計	1,780,000 円
宮古市	第１次配分金	50,000 円
	第２次配分金	25,000 円
	第３次配分金	20,000 円
	第４次配分金	4,000 円
	第５次配分金	3,000 円
	小計	102,000 円
合計		1,882,000 円

帯が別々に住民登録されている場合に限り、各世帯主が交付を受けられる。

④・⑤　住宅損壊等見舞金（社会福祉施設等）

入居している社会福祉施設等に半壊以上、または半焼以上の損壊があった方に配分。

表５　④入居していた社会福祉施設等が全壊または全焼した方

受付区分	内容	金額
団体受付分及び岩手県	第１次配分金	350,000 円
	第２次配分金	562,000 円
	第２次配分金（追加）	132,000 円
	第３次配分金	66,000 円
	第３次配分金（追加１回目）	38,000 円
	第３次配分金（追加２回目）	24,000 円
	合計	1,172,000 円

表６　⑤入居していた社会福祉施設等が半壊または半焼した方

受付区分	内容	金額
団体受付分及び岩手県	第１次配分金	180,000 円
	第２次配分金	281,000 円
	第２次配分金（追加）	66,000 円
	第３次配分金	33,000 円
	第３次配分金（追加１回目）	19,000 円
	第３次配分金（追加２回目）	12,000 円
	合計	591,000 円

⑥　家屋損壊等見舞金（店舗等）

所有する、または使用の権利を有する事業所（店舗、アパートなど非居宅に限る）に半壊以上の損壊を受け、被災日時点で宮古市に住民登録などがあった事業主に配分。事業主が法人の場合、市内に本店を有するものに限る。居住していた住宅に対する義援金を受領された場合は対象外となる。また、店舗などが複数ある場合でも交付額は変わらない。

⑦・⑧　未成年者見舞金

震災で両親又は両親のいずれか1人を失った、18歳未満の方（被災時点）1人につき配分。

⑨　ひとり親世帯見舞金

居住していた住宅に半壊以上の被害があり、かつ被災日時点でひとり親家庭等医療費を受給している母子・父子世帯に配分。

表７　⑥家屋損壊等見舞金（店舗等）

交付元	内容	交付金額
宮古市	第１次配分金	50,000 円
	第２次配分金	100,000 円
	合計	150,000 円

表８　⑦⑧未成年者見舞金

区分	交付元	内容	交付金額
⑦ 両親を失った方	宮古市	第１次配分金	300,000 円
⑧ 両親のいずれかを失った方	宮古市	第１次配分金	200,000 円

表９　⑨ひとり親世帯見舞金

交付元	内容	交付金額
宮古市	第１次配分金	100,000 円

⑩　介護世帯見舞金、障害者世帯見舞金

居住していた住宅に半壊以上の被害があり、かつ、被災日時点で要介護3から5の人を在宅で介護している、または重度障害者（児）が在宅の世帯に配分。

（注：重度障害者（児）とは、被災日時点で身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級を持っている方。）

⑪　高齢者施設等入所者見舞金

震災により半壊以上の被害を受けた高齢者・障害者施設に、被災日時点で入所していた方、または高齢者・障害者施設への入所前に居住していた、市内にある住宅が半壊以上の被害を受けた方に配分。

⑫　災害障害見舞金

宮古市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づく災害障害見舞金を受給した方に配分。

⑬　生活支援見舞金

居住していた住宅に半壊以上の損壊があり、冷蔵庫などの家電製品が流出などで使用できなくなった世帯に配分。

（注：次の方は対象外。応急仮設住宅（市営住宅、雇用促進住宅および民間賃貸住宅の借り上げを含む）に入居する世帯で日本赤十字社からの家電製品寄贈の対象となる世帯、住宅応急修理補助受給世帯）

表 10　⑩介護世帯見舞金、障害者世帯見舞金

交付元	内容	交付金額
宮古市	第１次配分金	100,000 円

表 11　⑪高齢者施設等入所者見舞金

交付元	内容	交付金額
宮古市	第１次配分金	100,000 円

表 12　⑫災害障害見舞金

交付元	内容	交付金額
宮古市	第１次配分金	40,000 円

表 13　⑬生活支援見舞金

交付元	内容	交付金額
宮古市	第１次配分金	50,000 円
	第２次配分金	25,000 円
	合計	75,000 円

（株）ダイモン
カ）ｼｰﾃﾞｯｸ
カ．ｼﾝｶﾜｻｷｾｲｻｸｼｮ
ｻﾞｲ．ｲﾜﾃｹﾝﾀｲｶﾞﾝｷｮｳｶｲ
ｼﾝﾆﾎﾝｾﾂｹｲ．カ．ﾄｳﾎｸｼｼｬ
カ）ﾜｲ
カ）ﾀﾞﾝﾗｲ
原水爆禁止日本協議会
一関市議会
吉野石膏（株）
ケーキハウスツマガリ
日の出町自治会
（有）環境計画工房
日本体育施設（株）
佐田建設（株）レーベンハイム高崎作業所
全国市長会 平成 23 年東北地方太平洋沖地震災害対策本部
全国市長会水産都市協議会
ANOTHERWAY2007
（協）岩手県資産評価システムセンター
北海道留萌振興局農務課一同
（有）ケントハウス
みちのく会
宮古白堊会
盛岡市議会
（株）パスコ社員有志一同
羅東国際青年商会（台湾）
盛岡 JC シニアクラブ
ﾏﾒｸﾞﾗ ﾁｬﾘﾃｨｰﾃﾝ
ﾕｳｼﾝﾃﾞﾝｷ（カ）ｼﾔｲﾝｲﾁﾄﾞｳ
ｱｸﾞﾘｽﾄｶﾐﾔﾏ
ｵｵﾊﾞ ｾﾞｲﾘｼｼﾞﾑｼｮ
新岩手農業協同組合
（有）水幸農園
須磨妙法寺川さくらの会
（株）岩手県北観光職員互助会
立正佼成会一食平和基金
ﾗｰﾒﾝﾉｺｲｹｻﾝ
ﾜｰﾙﾄﾞ ﾋﾞｰﾝｽﾞ
ﾏﾂｵｶﾘﾔｼﾞﾁｶｲ．ﾉｳｶｸﾐｱｲ
（株）シオン
ﾀﾞﾑ ﾊﾂﾃﾞﾝｶﾝｹｲｼﾁｮｳｿﾝｾﾞﾝｺｸｷｮｳｷﾞｶｲ
カ）ｲﾜﾃｷﾞﾝｺｳﾐﾔｺﾁｭｳｵｳｼﾃﾝ
ｼｴﾝﾗｲﾌﾞ ﾌｼﾞﾀ
ﾋﾛｻｷｼﾚﾝｺﾞｳﾌｼﾞﾝｶｲ
（株）マルビシ
社会教育団体「にんじんの会」
北海道遠軽町
ヒロセ電機（株）
ｲｶﾜﾏﾁ（秋田県）
青森県黒石市

（株）エムシーエス生涯学習センター
東京都品川区長、職員・教職員一同
東京都江東区
カ）ｿｳﾜ
カ）ｸﾚｲﾝ．ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ
ｺｸﾌﾞｲﾜﾃｼｭﾊﾝ．カ
カ）ﾃﾞｨｽｸ　ﾜｰｸ
カ）ﾌﾟﾛﾝﾃｲｼ
北海道釧路市職員一同
カ）ﾘｭｳﾂｳｷﾞｹﾝﾄﾞﾆﾁｼﾞﾔﾝﾎﾞｲﾁ
千徳小学校卒業生一同
サンライズ千徳卒業生一同
ライオンズクラブ国際協会 332－B 地区ガバナー
南町町内会
日本国土開発（株）
サスライメイカー一同
コープケミカル（株）
ジェイアールバス関東（株）館山支店有志一同
宮古西中学校 H22 年度卒 3 年 B 組
稲沢市議会平和会・マンモ有志会一同
（株）ユニバース
（株）協栄
東京都品川区議会議員一同
佐藤築炉工業（株）
ﾀｲﾍｲﾃﾞﾝｷ（カ
秋田県横手市
（株）エイエスシステム
LOVE 岩手ふじポン義援金事務局
介護予防わいわい教室西ヶ岡会員一同
宮古市川井地区交通安全母の会
（株）コスモテック
八幡平市議会
北海道壮瞥町
池田町高島近牛農業部会
雄大（株）
東洋カイロプラクティック藤が丘療術センター
近崎つぐみのマンション住人一同
全国友の会中央部
新潟県見附市
ﾕ）ｲﾁﾉﾐﾔﾔﾂｷﾖｸ
カ．ｱｻｶ
カ．ｼﾖｳﾜﾄﾞﾎﾞｸｾﾂｹｲ
ワインの木テラ
鴨崎町第一自治会
黒沼建築設計事務所
ｷﾀﾑﾗｷﾞｼﾞﾕﾂ（カ）ｺﾞｼﾞｮｶｲ
カ）ﾃｲｰｵｰﾃﾞｲｰ
ﾄｸﾃｲｾｴｲﾘｶﾂﾄﾞｳﾎｳｼﾞﾝ ｴﾙ
JFE ミネラル（株）
（株）クリタス

〈自治体・団体からの義援金〉

三重県四日市市
沖縄県多良間村
徳島県神山町
（株）宇佐美鉱油
浜田山三井グランド環境裁判原告世話人有志
黒石市職員互助会 外 3
黒石市議会
和歌山県上富田町
目黒駅前商店街振興組合
鳥取県南部町
コム・システム（株）
東北公営企業（株）
東北ヒロセ電機（株）
津軽石小 H22 年度卒業生一同
東日本交通（株）
品川区民有志（品川区長）
筑西市立明野中学校
田鎖自治会
ソーラン三崎
長沢自治会
（有）奥羽グリーンメンテナンス
ﾐﾔｺｸｹﾝｻﾂﾁｮｳｼｮｸｲﾝｲﾁﾄﾞｳ
シンク・エンジニアリング（株）
（株）市村製作所
鎌倉市少年野球連盟学童部
日本共産党中央委員会
ｵｳｼﾕｳｼｼｮｸｲﾝﾀｲｼｮｸｼｬﾉｶ
秩父石灰工業（株）
京浜急行電鉄（株）
京浜急行バス（株）
（株）北日本朝日航洋
ヘルメス（株）
華厳院梅花講一同
コマツ岩手（株）
いずみ巣子ニュータウン自治会
北上ビルメン（株）
千徳沢納税組合
ｴﾃｶﾞﾐｻｰｸﾙ ｼﾗｺ
千徳町町内会
北海道池田町
ｼｬ）ｽｲｻﾝﾄﾞﾎﾞｸｹﾝｾﾂｷﾞｼﾞｭﾂｾﾝ
ﾕ．ｲﾄｳﾔﾂｷﾖｸ
全国建設労働組合総連合
（有）田村コンクリート工業
（株）渋沢
チャイナムーン
金ヶ崎町
ラサ工業（株）

東京陸中懇談会	育英メディカル専門学校	黒石市農業委員会
田鎖水利組合	社会民主党全国連合	Franz und Dorli Rauter
荏原商事（株）	りとる宮古島	ｶ)ｵｶﾞｻﾜﾗｻﾝｷﾞｮｳ
（株）金澤電気工業所	沼津プロレス	ｳｲﾙﾋﾞｼﾞｮﾝ(ｶ
（有）TM デザイン	日光山輪王寺堂務部	ﾐﾔｺｼﾞﾏﾄﾗｲｱｽﾛﾝｾﾝｼｭｺｳｼｶ
市民連合盛岡市議団	（株）秋田情報センター	和歌山県串本町
東洋海事工業（株）	国際航業グループ役職員一同	新日本婦人の会中央本部
サンブリヂグループ	ｸﾆｲｾｲｹｲｹﾞｶ	（一財）全国市町村振興協会
早稲栃自治会	串屋番鶏及びお客様一同	グリーン動物病院
ひきめの里直売所	（株）マリーデマナ絆ドリームプロジェクト	（一社）福祉自治体ユニット
ヘアーサロン山下有志一同	新日東鋼管（株）	宮古島トライアスロン実行委員会
劇団大川	全国市議会議長会	東京都品川区
リアン	北日本コンピューターサービス（株）	桜蔭会岩手県支部
板屋自治会	平泉町	Ｃ．Ｃ．Ｃ
東京宮古同郷会	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽﾏﾁﾉﾋﾘﾖｳｼﾔｶｿﾞｸｽﾀ	（一社）大日本水産会
幸福実現党	ﾁﾊﾞｲﾁｶﾜｼｮｳﾎﾞｳ 23 ﾌﾞﾝﾀﾞﾝ	黒石市職員労働組合
ｼﾅｶﾞﾜｸｵﾖｸｼﾙｶｲ	ｶｲｺﾞﾛｳｼﾞﾝｼｾﾂｱｼｽﾄ	ｶ)ｼﾝｺｳ
川井地域づくり委員会	ｷｸﾁﾅｲｶｲｲﾝ	ｺﾊﾞﾔｼｾﾞｲﾘｼﾞﾑｼｮ
箱石地域づくり委員会	秋田県鹿角市	（有）道又林業
川内地域づくり委員会	（株）八州	（有）道又林業従業員一同
門馬地域自治振興協議会	千葉県柏市消防団	岡村集会所
小国地域づくり委員会	千葉県柏市消防協力隊	日本自治体労働組合総連合
江繋地域づくり委員会	ﾕ)ﾔﾏﾄｷｶｸ	昭和 29 年度鍬ヶ崎小学校入学児童
川内自治会	ｶ)ｶﾊﾞﾄｷﾞｹﾝ	ｾｲｼﾝｼﾞﾖｼｶﾞｸｲﾝﾁｺｳｺｳﾄｳｶ
（株）インターセントラル	ﾕ)ｵｶﾓﾄﾄｿｳｺｳｷﾞｮｳ	ﾆﾎﾝﾌｲﾆｯｼｭ(ｶ
繋婦人会	ﾕ)ｸﾛﾀﾞﾊﾞﾝｷﾝ	ﾀｲｺｸﾔﾀｲｲｻﾞｶﾔﾋﾟﾝﾋﾟﾝ
小国婦人会	ﾀｸﾕｳｺｳｷﾞｮｳ(ｶ	文京区立茗台中学校 PTA
佐倉まちづくりの会	ｶ)ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟﾀｶﾗ	ｾﾝﾎﾞｸｼｾﾝﾎﾞｸｼｼﾖｸｲﾝﾛｳｸﾐ
医療法人みよし内科・消化器科	ｶ)ｻｸﾗｲﾁﾀﾞ	ﾊﾟﾄﾞﾙﾌﾛｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｴｸﾄ
ｼｬﾀﾞﾝﾎｳｼﾞﾝｶﾜｲﾑ	ﾕ)ｸﾞﾘｰﾝﾏｲﾃｲﾅｲｴ	なご味
ﾂﾄﾞｲﾉﾓﾘｺﾓﾚﾋﾞﾉﾔ	ﾔﾏｾﾞﾝｲﾝﾃﾘｱ(ｶ	居酒屋よってきね
ｶ)ｱｻﾋｺﾞｰﾅｲ	ｾｷｸﾞﾁﾘﾖﾂｶ(ﾕ	春日部南ロータリークラブ
ｷｸｶﾞﾜｼ ﾏﾒﾏﾒﾏｰｹ	ﾕ)ﾖﾅｲﾊﾝｼｬ	「不死鳥・日本」事務局
江繋地区有志の会	ｶ)ﾀｶﾊｼｸﾞﾐ	聰水会一同
（株）商工組合中央金庫	ﾔﾏｸﾞﾁﾄﾞｹﾝｺｳｷﾞｮｳ(ｶ	二俣川幼稚園母の会
道の駅区界高原	ﾀｸﾕｳﾄﾞｳﾛ(ｶ	二俣川幼稚園
（株）IZ（高橋　匠）	ﾕ)ﾌｶﾀﾞｾｲｻｸｼｮ	在京白堊会
宮古製糖（株）	ｾﾝｴｲｺｳｷﾞｮｳ(ｶ	ありんこ保育会
舘下良コンサート実行委員会	ﾕ)ﾏﾙｷ	中央区立日本橋中学校 PTA
珈琲倶楽部寛有志一同	ﾌﾙﾔｺｳｷﾞｮｳ(ｶ	日本青年会議所あいち医療クラブ
やまびこ山菜まつり実行委員会	ﾕ)ｽｽﾞﾖｼｼﾞｺｳｷｹﾝｾﾂ	医療法人南信会ハッ田歯科
山口太鼓流北海若衆太鼓チャリティーコンサート「輪」	ﾕ)ｽｶﾞﾜﾗﾄﾞﾎﾞｸ	花原市自治会
大麻扇町商業協同組合	ｶ)ｽﾅｺﾞｸﾞﾐ	蒲野建設（株）
（株）ヒロ建設	ｷｮｳﾜﾄﾞｹﾝ(ｶ	崎山自治会
宮町１・２丁目町内会	ｶ)ｽｽﾞｷﾄｳｹﾝﾅｲｴﾎﾝﾃﾝ	キラキラ Kids 幼稚園職員父兄一同
ｻｹｼﾖｸｼﾞｰ	ﾕ)ｶﾜｼﾏｽｲﾄﾞｳｾﾂﾋﾞｺｳｷﾞｮｳ	慈光園保育所
日本の森・滝・渚全国協議会	ｶ)ｷﾑﾗｺｳｷﾞｮｳ	ﾕ)ｲﾁﾀﾞｲ
北上市	ｶ)ｲｽﾞﾐｺｳﾑﾃﾝ	ﾘｽｲｶｶﾞｸ(ｶ
自治労八幡平市職員労働組合	Holz（平山貴士）	山口県下関市
（株）アインファーマシーズ	盛岡大学短期大学部	(ｶ)ｿｳｷｶｸｾﾂｹｲ

マリンピア松島水族館	ﾕ)ｴﾄﾘｳﾞｱﾝ	いまい内科・循環器クリニック
一関商工会議所青年部	ｶ)ｺﾊﾞﾔｼ	ｻｲﾎﾞｳｽﾞ(ｶ
丸喜交通（株）	ｶ)ｲﾝﾃﾞｺ	ｶ)ｷﾞｮｳｾｲ
（株）東京法規出版東北支社	豊島区倫理法人会	ｷﾂｻﾎﾞﾝﾅ
（株）共立合金製作所	（株）横河建築設計事務所	ﾓﾘｵｶｼｶﾞﾝｶｲｶｲｶｲ
盛岡市消防団班長会	スーパードライびあぐら	赤坂自治会
ﾔｸｵｳﾄﾞｳ	釧路岩手の会	宮園自治会
妙法寺・命の行進 kaori Teramura	黒森神楽	（株）Birthday Eve
ｼﾜｺｳｺｳ 3G ｸﾗｽｶｲ	金勢神社	地域安全学会
川井婦人会	ボビーショップささき	ｶ.ﾎｸﾛﾊｳｼﾞﾝｸﾞ
黒南ソフト OG 会	NPO 法人かわい元気社従業員一同	日本消防協会災害対策支援金
大分県竹田市	東日本ハウス（株）	岩手県消防協会
下刈屋子供会	法相宗大本山薬師寺	箱石ボランティア
陸上自衛隊第２師団	大分県臼杵市	（株）ルイズビィ
南橘地区九条の会	（福）産経新聞厚生文化事業団	ｶ)ｷｮｳｹﾞｲ
大曲フラ・ボランティア	（有）かんもん商店	ｿﾊﾞﾄﾞｺﾛ ｷｷｮｳ
盛岡走友会	（有）毎日元気	ﾄｳｷｮｳｼﾅｶﾞﾜｸﾘｯﾀ
宮古市職員退職者の会新里支部	（学）女子美術大学	（福）川井心生会職員親睦会
八幡平市消防団	（株）宮本工業所	慶応義塾大学宮家会
ﾒｷｼｺ在住日本人ｱｰﾃｨｽﾄの皆さん	積和建設東東京（株）	（株）丸片ガス
山口青年の会	箱石自治会	根市自治会
ｴﾌｴﾑｱｷﾊﾊﾞﾗ	ﾋﾞﾊﾞｲｼｬｷｮｳ	ピンクカウ
海人プロジェクト	ｷｮｳﾄｾｲｶﾀﾞｲ	居酒屋サムライばんばん
（株）叙々苑	ｶ)ｲｼﾜﾀﾘﾔﾏｲｼｼｭﾙ	（株）岩手めんこいテレビ事業局
島田兄弟自動車	（独）国立病院機構肥前精神医療センター	日本郵政募金会
ﾃﾂﾊﾟﾝﾀﾞｲﾆﾝｸﾞﾀｷ	曹洞宗宗務庁岩手県宗務所	バー アニア
円明堂	「飛翔」千葉ウルトラマラソン	岩手県市議会議長会
岩手県市長会	芹洋子コンサートチャリティー	北海道士幌町
ｶｽｶﾍﾞｷｮｳｴｲﾁｭｳｶ	みたけ中央町内会福祉部	山口三・四丁目自治会
（有）グラシアス	真宗大谷派宗務	ｶ.ﾅｳﾋﾞﾚｯｼﾞ
ｶ)ﾄﾞﾝﾄﾞﾝｱｯﾌﾟ	（有）エースインク	ｲﾂｶｲﾁｼﾝｺｳｷｮｳｷﾞ
ﾄｸﾋ)ｱｼﾞｱﾘｶﾞﾄｳ	（株）エフビー	盛岡市
ﾂﾅｷﾞﾛｳｼﾞﾝｸﾗﾌﾞ	秋田県仙北市	小山田２丁目町内会
ｶ)ｿﾞｳｹｲｼｬ	ﾊﾟﾝｷｮｳｼﾂﾑｷﾞﾉｶ	自由法曹団岩手支部
ﾐﾔｹﾁｮｳﾂﾅｶﾞﾘﾝｿｳｺ	新里ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ救援物資ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ一同	下在家自治会
ｶ)ｳｴｽﾀﾝｺｰﾎﾟﾚｰｼ	チャリティーコンサート（木村優里）	ｵｷﾅﾜｹﾝﾘﾂｶﾝｺﾞﾀﾞ
やまびこフェスタ実行委員会	チェコの皆様（木村優里）	宮古市農業委員会
ｻﾝﾏﾏﾂﾘｱｰﾄﾌｪｽﾃｨ	ﾈｲﾙﾊﾟｰﾄﾅｰ	公明党沖縄県本部
（株）石川商事	ﾊｸｲｼ ﾉﾄﾌﾙｻﾄﾊｸｼ	宮古高校同窓会
ﾆﾂﾎﾟﾝﾌｲﾂｼｬ(ｶ	日本大学ワンダーフォーゲル部 OB 会くさはら会	ｹｲﾊﾞﾓｰﾙ(ｶ ﾗｸﾃﾝ
大阪府吹田市保健センター	旭丘剣道会	女遊戸部落会
日本共産党	ｻﾝﾉｳﾃﾂｸ(ｶ)ﾋｶﾞｼ	（株）西ビル管理
（株）IHI 環境エンジニアリング	連心寺	CORO del CUORE
福島県人会	ﾅﾙｲ ﾏﾕﾐ ｽﾅﾂｸﾏﾕ	早稲田大学建築学科耐震構造専攻 OB 有志
ﾇﾇﾂﾞﾏﾁﾂﾞｸﾘ(ｶ	プロテック（株）	（学）桐朋学園
ﾀｲｺｳｷﾝｿｺｳｷﾞｮｳ(ｶ	混声合唱団北声会	ﾔﾏﾀﾞﾐﾕｷｾﾞｲﾘｼﾞ
いずみ会歌謡祭	仙北市・仙北市国際交流協会	全国青年経営者会
ﾜﾀﾞｾﾝｾｲ 15 ｼｭｳﾈﾝ	only one ～ music carnival ～実行委員会	（福）岩手県社会福祉事業団松山荘
関山中尊寺	ﾊﾆｰｺｰﾋｰ(ｶ	（有）すがた
ﾌｼﾐﾔｼｮｳｼﾞ(ｶ	ｶ)ｱﾘｰﾌﾞ	國際松濤館空手道連盟

（株）高田道場	ｼﾞｬｽﾄﾜﾝ（カ	（有）源
ﾏｷﾂｽﾞﾚｽﾘﾝｸﾞｸﾗﾌﾞ	（学）マノ学園真野美容専門学校	ﾎﾞﾃﾞｰｼｮｯﾌﾟﾅｶﾑﾗ
羽村市企画総務部企画政策課チューリップまつり	後藤泌尿器科皮膚科医院	第２回区界高原まつり
ｿｳﾄｳｼｺｳ ｻｶﾞｹﾝｼ	（株）ニック	（株）新栄
ﾔﾏｻﾝﾃﾞﾝｾﾝ（カ	みずの歯科	ﾄｳﾎｸﾃﾞﾝｾﾂｺｳｷﾞｮｳ
ｼﾓﾉｾｷｼｮｳｺｳｶｲｷﾞｼｮ	亀岳小学校児童会	春日屋ラーメン店
苫小牧商工連盟	ｲｸﾃｹﾝｾﾂｺｳｷﾞｮｳｼ	ｼｬ）ﾆﾎﾝｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺ
連合 北海道苫小牧地区連合	ｶﾝｾｲｶﾞｸｲﾝﾎｳｿｳｷ	ﾁﾊﾞｼｺﾅｶﾀﾞｲｺｳﾐﾝ
岩手県立宮古商業高等学校	ｶﾌﾞﾎﾝﾏｸﾞﾐﾀﾗﾚﾊﾞ	（株）薩摩恵比寿堂
ﾕ）ﾅﾝｷｼｰﾏﾝｽﾞｸﾗﾌ	ｲﾄｳﾁｭｳｴﾈｸｽｻｲｶﾞ	ｶ）ｱｰﾃｸﾙ
（株）ジャック	福井県幸町町内会	双樹会
ｶ）ﾐﾃﾞｨｱﾑ	宮古市立川井西小学校児童会	ホテルブライトイン盛岡
昭光通商（株）	ウォークデン・ハイスクール（イギリス）	ｺﾞｰｺﾞｰﾃｲﾌﾂｺｳｼｴ
伊藤忠建材（株）	多良間村立多良間小学校	（公社）日本 3B 体操協会
岩谷テクノ（株）	（有）サイキリフォームサービス	西山団地町内会
昭和電工建材（株）	ﾕ）ﾜｲｱﾝﾄﾞｹｲ	がんばっつぉ！！宮古Ｔシャツ製作委員会
関東ラムダ会（南国殖産（株）東京支店）	宮古市職員生活協同組合	羽咋市議会自民クラブ市民フォーラム
ﾕ）ﾜｺｳｸｳﾁｮｳ	道の駅やまびこ館	黒森町町内会
秋田おばこ農業協同組合	ｶﾗｲﾝｸﾞ	（株）宮古自動車学校
Soutien Au Japon-Orléans（東北を応援する会）	医療法人社団優実会中野歯科医院	旭川薬剤師会・女性薬剤師会
ﾗｼﾞｵｽｸｴｱ	ﾁﾊﾞｼﾘﾂｶﾈｻﾞﾜｼｮｳ	ﾗｲﾄｱｯﾌﾟﾆｯﾎﾟﾝ
恵那市立恵那西中学校文化部家庭科コース部員一同	サンエイ（株）	ｲﾉｳｴﾌﾞｯｻﾝ（カ
（株）ホンダ村上エスエス	ｶ）ｿｳｺﾞｳｺｳｸｼｬ	ｱｰﾄｲﾝﾅｶﾞﾊﾏ長浜芸術版楽市楽座運営委員会
マルイ商店	PADDLE-FLOATPR	県都タクシー内県都交通睦会
ｶ）ﾌｼﾞｺｰ	ﾕ）ｽｸﾞﾈ	島根県有志一同
秋田県立秋田南高等学校８期同窓会	ﾃｲｸﾌｱｲｳﾞ	川井村商工会
（一社）黒石観光協会	ﾁｭｳｶﾞｲｾｲﾔｸ（カ）	（株）エンジェル
古舘産直センター	ﾓﾓﾁｶﾗﾃ	三上敏氏叙勲祝賀会実行委員会
盛岡市立巻堀中学校	ｻｱｰﾃｲｰｽﾞ	協同組合雫石町サービス店会
ｶ）ｱｽﾞﾏﾘﾖｸｶ	東京宮古同郷会	大阪府立豊中高等学校自治会
埼玉県和光市議会総務環境常任委員会	小さな手芸村（古橋清美）	焼津市議会市民厚生常任委員会
八幡平市商工会青年部	（株）アーネストワン	協和自動車輸送（有）
ﾄｳｷｮｳﾄﾘﾂｺｳﾂﾞｺｳ	ｸﾗｼｷｹﾞｲｼﾞｭﾂｶｶﾞ	協和自動車輸送（有）川越センター
ﾀﾞｲｾﾝｼﾔｸｼｮ ｿｳｺ	(公社) 日本青年会議所 2012 年度北九州地区大分ブロック協議会	絆ドリームプロジェクト
（株）ヒラトヤ	荏原市消防団	ｼｵｼﾞﾘﾜｲﾅﾘｰﾌｪｽﾀ
ｶ）ｴｺｽﾖﾈｻﾞﾜ	兵庫県豊岡市豊岡消防団	ナージユリヴレ
ｶ）ｴﾇｴｰｼｰ	盛岡消友会	ﾌｼﾞｼﾔｶｲﾌｸｼｷｮｳ
キッズ・ウォーカー宮古店	岩手県宮古教育事務所	はちまんたい大集合ﾌｪｽﾀ実行委員会
（福）美唄市社会福祉協議会	居酒屋蔵	居酒屋みやこ
鎌倉野球協会学童部	久慈民商青年部	菊川工業（株）
ブラジリアン食堂 BANCHO 及びお客様一同	全建総連東京土建足立支部	（公財）岩手県スポーツ振興事業団
ｾﾝﾀﾞｲｼﾗﾕﾘｶﾞｸｴﾝ	近藤商店（宮古市）	（公財）岩手県スポーツ振興事業団県民ゴルフ場
多良間村文化協会	アップルグループ	ﾄｳｷｮｳｶｲﾖｳﾀﾞｲｶﾞ
ﾓﾘｵｶｼﾘﾂﾋｶﾞｼﾏﾂｿ	山口県下関市役所職員一同	（株）ダイエックス
（有）十勝均整社	ｼﾞﾕｳﾆ ﾘﾕｳｼﾞ	宮古市老人ｸﾗﾌﾞ連合会新里支部
ｵﾃﾞﾝｾｻﾝﾘｸ	ｱｵｲﾄﾘﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾑﾗ	遊遊会（株）長龍マリーナ
ﾆｺﾅﾏｺﾐﾕﾆﾃｨ ﾃﾞｵ	ｽﾂｷﾔﾈﾝﾀﾛｳ ｷﾂｻﾌ	ｶﾞﾝﾊﾞﾚ ﾐﾔｺｼ
熊谷チャリティーウォーク実行委員会	灘高等学校写真同好会	ﾐﾔｺｼﾌﾙｻﾄﾎﾞｷﾝﾀﾞ
実相寺（東京都世田谷区）	聖心女子学院	相去地区自治協議会
大阪府堺市	栄町自治会	ﾆｯｹｲｹﾝｻﾞｲｺｳｷﾞﾖ

〈個人からの義援金〉

鵜飼玲子		連合神奈川
ｻﾄｳ ﾐﾁﾏｻ		下田市ボランティア連絡協議会
ｵｵｶﾜﾗ ﾀﾂﾔ	伊藤洋志	劇団まどか
林　謙一郎	若原　薫	（一財）岩手県市町村職員健康福利機構
ｺｲﾃﾞ ﾐﾁﾋﾛ	永田善基	下関商工会議所青年部
ｸﾏｶﾞｲ ﾃﾂﾔ	藤田長一郎	日本 ECOTS（株）
ｱｻﾜ ﾏｻｵ	田沢　至	あきる野市議会議員６名
ｷｸﾁ ｶｽﾞﾉﾘ	舘崎智義	（株）大垣電器
ｳｻﾐ ｾｲｼﾞ	小松秀嗣	ｶ）ｷﾖｳﾄﾞｳﾁｼﾂｺﾝﾊ
ｲｼｻﾞｶ ﾉﾘｺ	佐々木勝春	Gallery やさしい予感
ﾇﾏｼﾞﾘ ｾｲｺﾞ	多鹿昌幸	日本大学理工学部建築学科（四四の会）卒業生
ﾌﾁ ﾕﾀｶ	堂野夢酔	宮古市立新里中学校生徒会
ｻﾄｳ ﾋｻｺ	飯島	（学）桐朋学園男子部門中・高 PTA
ｵﾁｱｲ ﾀｶｼ	田中喜和子	（株）まちづくり奥州
ﾐｶﾐ ﾘｻ	藤村優衣　外３名	品川第二地区町会連合会
ｵﾁｱｲ ﾕｳｺ	倉田寿江　外１名	（福）砂川市社会福祉協議会
ﾋｻﾏﾂ ﾕｷｵ、ﾕｳｺ	水島静枝	堺市西区自治連合協議会
ﾀﾅｶ ｸﾐ	ﾖｺﾔﾏ ﾀｹｼ	オーエム通商（株）
ﾌﾙﾀﾞﾃ ﾏｻｼ	ﾌﾙｻﾄ ﾏｻﾕｷ	下関市立向洋中学校第 10 期（昭和 44 年）卒業同期会
ｻﾄﾞﾔ ﾁｴﾐ	ﾐﾔｼﾀ ﾕｳｺ	岩手県立盛岡青松支援学校高等部
ｵｵﾀｹ ﾘｴｺ	ﾐﾔｺｼﾉﾌﾂｷﾕｳﾖﾈｶﾞｳｼﾌﾞｼｼｻﾞｲ	東北地理学会
ｻｶﾓﾄ ｷﾖｼﾞ	斉藤文和	東京ボード工業（株）
ｻﾄｳ ﾖｼﾏｻ	小林良一、亮子	日本イーライリリー（株）
ﾌﾙﾀﾞﾃ ﾄｼｵ	岡田光世	ｶ．ﾘﾕｳﾂｳｿﾘﾕｰｼｮﾝ
ﾀｶﾊｼ ｷﾖﾐ	ｽｽﾞｷ ﾖｳｺ	宮古市ブルーチャレンジプロジェクト協議会
ｷﾀﾀﾞﾃ ﾋﾛｺ	ﾌｼﾞｻﾜ ｻﾁｺ	ﾕ）ﾄｶﾁｷﾝｾｲｼｬ
ｶｻｲ ﾉﾘﾐﾂ	ﾄﾐﾀ ﾋﾃﾞｺ	薬王山正法寺
ｱｲﾀﾞ ﾄｼｴ	ｻｻｷ ｶﾂﾐ	泉南市 ABC 委員会
ﾊｼﾓﾄ ﾁｽﾞｺ	永井敬司	足柄香粧（株）
ｺﾝﾉ ﾖｼﾐ、ｻﾁｺ	武藤敏子	秋田県立本庄高等学校特別活動部
ｲﾃﾞ ﾖｼﾋﾛ	岩井由紀子	八光建設工業（株）
ｼﾗﾏ ｶﾂｴ	ｲﾅﾊﾞ ﾀｶﾋﾛ	（宗）狗留孫山修禪寺
ﾌｼﾞｲ ｴｲｽｹ	ｲｼｶﾜ ﾁﾋﾛ	綾町商工会綾ふれあい館
ｻｻｷ ﾀｶﾕｷ	ｶﾅﾓﾘ ﾕｶ	カネパッケージ（株）
ﾌﾁﾀ ﾁﾊﾙ	ﾅｶﾞﾉ ﾏｺﾄ、ﾐﾅｺ	ﾛｱ ﾉ ﾅｶﾏ
ｱﾏﾀﾞ ﾋﾄﾐ	ｲｹﾀﾞ ﾏｻｷ	静岡済生会総合病院ホスピタルフェア委員会
ｶﾎ ｹﾝｲﾁ	ﾀﾅｶ ﾖｼﾐ	岩手県立黒沢尻工業高等学校
ﾀｸｻﾘ ﾕｳｽｹ	ﾌｼﾞｲ ｼｭｳｼﾞﾛｳ	ﾎﾝﾓｸｵｵｻﾄﾁﾖｳﾁﾖｳ
ｻﾜﾀﾞ ｱｽﾞｻ	ｽﾄﾞｳ ｴｲｼﾞ	共愛学園高等学校生徒会
ﾏﾙﾔﾏ ﾉﾘｺ	ﾎｼﾉ ｱｷﾋﾛ	ﾋﾟﾀﾂﾄﾊｳｽﾔﾏﾃﾎﾝﾓ
ｵｸﾉ ﾏｻﾋﾛ	ﾔﾏｻﾞｷ ｶｽﾞﾐ	（株）まちづくり奥州奥州市まちなか交流館
ﾅｶﾆｼ ﾖｳｽｹ	ﾏﾂｲ ﾉﾘﾕｷ	Snack&Bar ちひろ
ﾀﾆﾅｶ ﾃﾂﾛｳ	大久保剛克	実践女子大学キャリアデザインプロジェクト一同
ﾏﾂﾀﾞﾃ ｹﾝ	坂本貫太郎	雫石町立安庭小学校５年生
ｱｾﾞﾁ ｼﾝﾀﾛｳ	富永　稔	（一社）荏原医師会互助会
ｷﾑﾗ ｴﾂｺ	豊嶋　右	（福）多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センター
ｲﾉﾏﾀ ﾐﾎｺ	久生和正	美容室　Four Season
ｸﾏｶﾞｲ ｶｽﾞﾉﾘ	山崎光心	下関海響マラソン実行委員会
ｸﾏｶﾞｲ ｲｽﾞﾐ	山根崇大	
ﾔﾏｻｷ ｱｷ	澤田　巌	

ｽｷﾞﾔﾏ ｶｽﾞﾓﾄ	ｸﾏｶﾞｲ ｿｳｼ	ｱﾍﾞ ﾖｼｵ
ﾕﾓﾄ ﾀｶﾄ	ﾊﾔｼﾀﾞ ﾋﾛｼ	ﾀｶﾊｼ ﾏｺﾄ
ﾔﾏﾀﾞ ﾐﾖｺ	ｶﾜﾁ ｴﾂｺ	ｶﾂﾗ ｻﾁｺ
ｱｽﾞﾏ ﾑﾈﾉﾌﾞ	ｻﾄｳ ｼｽﾞｺ	ｵｵﾋﾗ ﾕﾘｶ
ｻｶｼﾀ ｱｷﾗ	ｸﾄﾞｳ ｻﾄｼ	ｶﾑﾗ ﾅﾂｴ
ﾀｶﾍﾞ ﾏｷｺ	ｼﾏﾀﾞ ﾘｺｳ	ｽｷﾞﾓﾄ ﾋﾃﾞｷ
ｶﾘﾍﾞ ﾕｳｲﾁ	ｸﾏｶﾞｲ ﾉﾘﾕｷ	阿部廣一
ｻｻｷ ﾄｼﾐ	ﾅｶｻﾞﾄ ﾋﾛｼ	ｽｽﾞｷ ｼﾞﾕﾝｼﾞ
ｸﾎﾞﾀ ｷｮｳｺ	ｶﾜﾓﾄ ｼﾞﾕﾝｺ	ﾆｼﾀﾞﾃ ｼﾉﾌﾞ
ｵｶﾀﾞ ｷﾐｺ	ﾅｶｲ ﾖｼﾉﾘ	ｷｸﾁ ｺｳﾔ
ﾀｹﾀﾞ ﾋﾄﾐ	ｶﾜﾑﾗ ﾖｼﾉﾘ	ｲｿﾀﾞ ｶｽﾞﾋﾃﾞ
ｵｵｲｽﾞﾐ ｼﾎｺ	船越真哉子	ﾔﾏﾆｼ ﾕｶ
ｻｻｷ ﾕﾐ	ﾏｷﾉ ﾅｵﾐ	ｵﾁｱｲ ﾀｹｼ
ﾅｶﾛﾂｶｸ ﾅﾅｴ	ﾌﾙﾀﾞﾃ ﾕｶｺ	ｻｻｷ ﾏｻｺ
ﾏﾂｻｶ ｹﾝｲﾁ	ｲﾅﾊﾞ ｼｹﾞﾉﾘ	ｼﾓｾｶﾞﾜ ｺｳｺ
ﾌｸｲｴ ﾖｳｺ	ﾔﾏﾈ ｱｻﾐ	ｱｶﾏ ﾓﾄｱｷ、ｶｽﾞﾖ
ﾄﾘﾊﾗ ｺｳｲﾁ	古高利男	ｵｵﾐﾔ ﾅｵｺ
ｲﾁﾉｾｷ ﾄｼﾋﾛ	見片　勇　外２名	ｶｼﾜﾊﾞﾗ ｲﾁｵ
ﾀｶﾊﾗ ﾀｶｼ	仲谷　仁	ﾊﾙﾀ ｾｲﾛｳ
ｻﾄｳ ﾐｽﾞｵ	馬場幸夫	ｲﾊﾞﾔｼ ﾄｼｺ
ﾀﾆｸﾞﾁ ﾏｷｺ	佐々木　功	ｼｵﾀﾞ ｼﾞﾕﾝｲﾁ
ｷｸﾁ ﾌﾐｴ	八木　修	ｶﾄｳ ﾏｻｺ
ｽｽﾞｷ ﾅｵ	官崎平八郎	ｻﾅﾀﾞ ｼｹﾞｵ
ﾌｼﾞﾀ ﾉﾘｺ	林田一夫	ﾉﾅｶ ﾋﾛｼ
ｷｸﾁ ｼｹﾞｱｷ	飛澤英明、絵梨乃	ｺｲﾄﾞ ｽﾐｺ
ﾖｼﾀﾞ ﾉﾌﾞｺ	大棒勝利	ｻﾀｹ ﾋﾛｺ
菊池良兵	飯田正美	ﾏﾂｳﾗ ﾅﾎｺ
中岡紀子	舘洞政廣	ﾄﾖﾉ ﾀﾞｲｽｹ
畠山輝子	扇田英子	田村盛司
中野和子、奥野ゆみ子	衣笠年子	稲葉利恵子
三好麻美	鈴木隆彦	青柳康行、憲治
菅野フデ	山内咲子	穴原精二郎
坂下幸子	藤井裕貴	吉川みゆき
北谷照雄、恭子	ｵｲｶﾜ ｼﾞﾛ	井上康二
片岡里美	ｲﾄｳ ﾐﾂﾃﾙ	福田幸夫
辻本興慰、隆子	ｲﾀｸﾗ ﾘｴｺ	ｻﾄｳ ｱｷ
房間　剛	ﾐﾅﾜ ｻﾎﾘ	ﾖｼｶﾜ ｷﾖｳｺ
ﾄｶﾞｼ ｱｹﾐ 49 ﾊｸｱ	ﾌﾙｵﾔ ﾐﾂﾋﾛ	ﾔｽｴ ﾏｷｺ
ｵｵﾊﾞ ﾄｼｵ	ｺｾｷ ﾌﾐﾔｽ、ﾔｽｺ	ﾀｶﾊｼ ｼﾞﾕﾝｺ
ｺｲｹ ﾕｳｽｹ	矢野小一郎	ｻｻｷ ﾂﾄﾑ
ｾｷｸﾞﾁ ﾋﾃﾞﾕｷ	ﾀｹｳﾁ ﾐｷ	ｶﾔﾈ ﾋﾛｼ
ｻｻｷ ｶｽﾞﾌﾐ	ﾊｾﾂ ﾄﾓﾐ	ｻｻﾊﾗ ﾖｼｱｷ
ﾎｼｶﾜ ﾋﾃﾞｷ	ﾅｶｼﾏ ﾀｶｼ	ﾏﾂﾑﾗ ﾐﾜ
ｼﾗﾊﾀ ﾋﾄｼ	ﾏﾂﾅｶﾞ ﾐｽﾞｴ	ｵﾊﾞﾗ ﾃﾙｺ
ﾎｰﾄﾝ ｱｷﾎ	ﾀﾅｶ ﾀﾞｲｽｹ	ｻｲﾄｳ ﾏｽﾐ
ｵｲｶﾜ ﾄﾓﾉﾘ	ﾏﾂﾌｼﾞ ﾋﾛｼ	ｵｵｸﾎﾞ ﾌｻｺ
ｺﾝﾄﾞｳ ﾃﾂﾋﾃﾞ	ｵｵｼﾀﾞ ﾀｹｼ	ﾖｼﾅｶﾞ ﾅｵｺ
ｺﾓｸﾞﾁ ﾁｴｺ	ﾎﾘｴ ﾉﾘﾂﾅ	ﾀﾑﾗ ｼﾝｿﾞｳ
ｵｸﾀﾞ ｼﾞｭﾝ、ﾀｶｺ	ﾋｷﾁ ﾅﾅ	ﾊｾｶﾞﾜ ﾃﾂｵ
ｱｷﾔﾏ ｶﾈｱｷ	ﾂｼﾞﾑﾗ ﾄｼｶｽﾞ	ﾏﾂｻﾞﾜ ﾀｶｷ

ﾌｼﾞｻｷ ｱｷﾖｼ	TOMOKO WAKAMATSU	ｵｵｸﾎﾞｼ ｽｽﾑ
ｷﾀﾊﾞﾀｹ ﾐﾂｵ	ｽｽﾞｷ ｶﾂﾄｼ	ﾂﾂﾞｷ ｶｽﾞ
ﾂｶﾊﾗ ﾏｺﾄ	ﾖｺｵ ﾕｳｲﾁﾛｳ	ｲﾁﾊﾗ ﾌﾐｵ
ﾐﾖｼ ｻﾁｺ	ｷﾑﾗ ｴﾐ	ﾑﾗｲ ｻﾁｺ
ﾀｻﾞﾜ ﾐﾂｺ	ｻﾉ ｱﾔｺ	ｻｶｲ ﾄｼｺ
ﾀｶﾊｼ ﾋﾃﾞｵ	ｶﾜｶﾐ ﾏｻﾊﾙ	ｵｵｸｻ ﾕﾀｶ
ｺﾝﾉ ｶｵﾘ	ｲｼｲ ｹｲｺﾞ	ｶﾜﾀﾞ ｷﾖｼ
ﾓｲﾁ ｸﾐｺ	ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾀﾞｵ	ﾐｽﾞﾉ ｶｽﾞﾋｺ
ﾂﾁﾔ ﾐﾂｴ	ﾐﾁﾋﾛ ﾘｶ	ﾎﾝﾏﾙ ﾁｴｺ
ｵｳﾐ ｺｳｼﾞ	ｻﾄｳ ﾏｻﾐ	ﾊﾗ ﾕｷｺ
ｵｶﾞｻﾜﾗ ﾄｷ	ﾀﾅｶ ﾐﾁﾃﾙ	ｲﾄｳ ｼｹﾞﾊﾙ
ｵｶﾞｻﾜﾗ ｹﾝｼﾞ	ﾀﾃﾎﾗ ﾌｷｺ	ｻｻｷ ﾐｷｵ
ﾌｼﾞｻﾜ ﾀｶﾋﾛ	ｼｭﾊﾏ	ﾌｼﾞｻﾜ ｼｮｳｼﾞ
ｽﾏﾘﾌﾟ ﾅｶﾞｼﾏ ﾏｻﾋｺ	ﾖﾅﾐﾈ ｶｽﾞｺ	ﾉｻﾞﾜ ﾕｷｺ
ｱﾍﾞ ﾌﾐｺ	ｲﾜﾏ ﾂﾊﾞｻ	ｿｳﾏ ﾄﾓｺ
ﾅｶﾑﾗ ﾋﾛﾐ	ﾂﾉﾀﾞ ﾀﾂﾛｳ	ｺﾜﾀ ﾂﾖｼ
ﾎﾘｺｼ ﾖｼﾋﾛ	ｽｷﾞｼﾀ ｲﾁﾛｳ	ｸｻﾉ ﾖｼﾋｻ
ﾍﾞｯﾌﾟ ﾂﾈｺ	ﾄﾐﾊﾏ ｿｳｷﾞ	ｼﾌﾞﾔ ﾃﾂｼ
ﾏｴﾀﾞ ｴﾂﾛｳ	ﾔﾏﾀﾞ ｱﾔ	ｻｸﾔﾏ ｴﾘ
ｷｸﾁ ﾄﾓｺ	ｱﾝﾄﾞｳ ﾔｽﾀｶ	ｲﾁｼﾏ ﾅﾅｺ
ﾅｶﾑﾗ ｱｲ	ｶﾅｻﾞﾜ ｱﾔｺ	ｲｼﾂﾞｶ ｻﾅｴ
ﾋﾛﾄｳ ﾓﾄﾋｻ	ﾏﾂﾓﾄ ﾀﾐｺ	ｶﾘﾔ ﾏｻﾖｼ
ﾌｸﾔﾏ ﾀﾀﾞｼ	ｱﾘﾊﾗ ﾐﾉﾙ	ﾌｸﾀﾞ ﾕｳｼﾞ
ｻｶｷ ﾖｼｺ	ﾀｷ ﾀｶﾕｷ	ﾌｼﾞﾉ ﾐﾂﾉﾘ
ｱﾝﾎﾞ ｼｮｳｼﾞ	ﾔﾏｸﾞﾁ ﾋﾛﾕｷ	ﾔﾏﾈ ｷﾇｴ
飛澤　寛、恵子	ﾐﾔｺﾆﾃﾞｷﾙｺﾄ ﾌｼﾞﾀ	ﾑﾗｶﾐ ﾉﾘﾐﾁ
鈴木　正	ﾌﾀﾑﾗ ﾑﾈｵ	ｱｻﾉ ﾉﾌﾞﾕｷ
竹内節子	ｻｲﾄｳ ﾏｻﾄﾓ	ｲﾄｳ ﾋﾛﾌﾞﾐ
薄井秀人	ｺﾀﾆ ﾉﾘﾕｷ	ﾀﾑﾗ ﾄｼｺ
ｺｳﾔﾏ ﾖｼﾑﾈ	ｻﾝﾉﾐﾔ ﾔｴｺ	松野琢哉
ｺﾔﾅｷﾞ ﾐｴｺ	ﾋｶﾞｼﾀﾞﾃ ﾕﾐｺ	宮越朗子、恒治
ﾊｾｶﾞﾜ ﾏﾘ	ﾅｶﾀ ｸﾆｶﾂ	斉藤信夫
ｷﾅｾ ﾋﾛｼ	ｻｲﾄｳ ﾕｶﾘ	宮城忠芳
ｲｼｸﾞﾛ ｴﾘｺ	ｷﾑﾗ ｴｶ	古明池悠紀子
ﾃﾞﾝﾄﾞｳ ｼﾕｳｿﾞｳ	ｵﾉｴ ｷｲﾁ	八重樫紘一
ｼﾝｶﾜ ｶﾂﾐ、ﾖｼｴ	ﾐｽﾞﾉ ﾄｼﾕｷ	内山直哉
ﾊｷﾞﾊﾗ ﾏｻｺ	山口文夫	荒川光明
ｵｶﾀﾞ ﾖｼﾏｻ	高倉紀明	田中準一
ﾓﾘ ﾋｻｺ	瀬藤伸生	橋口　仁
ｻﾄｳ ｼﾞﾕﾝ	遠洞卓治	竹内清四郎
ｳﾉ ｶｽﾞｼ	佐々木正人	橘　正喜
ﾀｶﾊｼ ﾄｼｺ	大蔦　剛	加藤豊明
ﾅｸﾞﾓ ﾕﾐｺ	佐々木由一	江原信昭
ｱｻﾉ ｻﾄﾙ	大手忠一	門間友二
今井哲夫	小林千恵子	遠藤レイ子、森本美穂
橋本和子	高橋人輝	田代隆男
平山さよ子	鈴木美幸、他　江戸川区民有志	三浦利勝
ﾓﾘ ﾉｿﾞﾑ	ｱｵﾔﾏ ﾕｳｽｹ	ｶﾜｿﾞｴ ﾕｷ
ﾐﾅﾐﾉ ﾉﾎﾞﾙ	ﾏｷﾉ ﾘﾖｳｻﾞﾝ	ﾏﾂｻﾞｶ ｹﾝｲﾁ
ｲﾃﾞ ﾖｳｽｹ	ｵｶﾞﾀ ｲｽﾞﾐ	ﾔﾏﾜｷ ﾉﾌﾞﾕｷ

伊香悦子	ｲﾏｷ ﾋｻｺ ﾎｶ	ﾅｶﾀﾆ ﾏｻﾋｺ
小畑雅昭	ｺﾞｳﾅｲ ｶｽﾞｺ	ﾖｼﾉ ｹｲｺ
栗田由季子	ｻｲﾄｳ ﾐｶ	ｴﾄｳ ｺｳｷ
亀山忠彦	ﾄｵﾔﾏ ﾄﾓｺ	ｶﾜﾊﾗ ﾐﾂｼ
山吉克彦	ﾅｶﾞﾊﾏﾔ ｻﾄｼ	ｸﾄﾞｳ ﾖｼﾋﾛ
ﾂﾕｸﾞﾁ ﾀｸ	ﾜﾀﾅﾍﾞ ｼｴﾌｱ ﾋﾛｺ	ﾁﾘ ﾀｴｺ
ﾀｺﾞ ﾏｻｱｷ	ｲｼｻﾞﾜ ﾏｷｺ	ﾋﾉ ｺｳｷ
ﾊｷﾞﾆﾜ ﾄｼ	ｺﾓﾘ ﾋﾃﾞﾔ	ﾀｸｻﾘ ｺﾄｺ、ｴﾘ
ｵｶﾞﾜ ｶｽﾞﾔ	ﾐﾔﾔﾏ ﾋﾛｼ	ﾔﾏﾀﾞ ｼｽﾞｺ
ｺｳｲﾁ	ﾉｸﾞﾁ ﾀﾀﾞｼ	ｳﾁﾉ ﾐﾖｺ
ﾌｸｵｶ ｲｻﾑ	ﾓｱｾﾞﾆ ﾙﾘ	ﾆｼﾑﾗ ｹﾝｲﾁ
ﾐﾔｻﾞﾜ ﾉﾘｴ	ﾃｻｷ ｶﾂｵ	ｶﾜﾑﾗ ｹﾝｼﾞﾛｳ
ｻｻｷ ﾕｷｺ	ﾏｴﾔﾏ ﾄﾓﾋﾛ	ｻﾜｸﾞﾁ ﾋﾄｼ
ﾀﾅｶ ﾏｻﾕｷ	ﾔﾏｻﾞｷ ｻﾄｼ	ﾌﾙｼﾖｳ ﾀｶｼ
中屋絵美	ｳｶﾞｼﾞﾝ ﾐﾕｷ	ｶﾜﾀﾞ ｶｽﾞﾄｼ
藤川佳恵	ｶﾐﾔﾏ ﾔｽｵ	ﾄﾋﾞｻﾜ ｹｲｺ
及川房子	菊池千里	松永泰子
大坊勝次	山口卓也	小林　正
大向正吾	宮本奏子	池田富貴子
矢野陽子	今野澄子	大槻基司
ｸﾉﾘ ﾏｺﾄ	盛合幸夫	川村栄一
ﾀｶｸﾗ ｼｽﾞｶ	石上静江	赤前耕一
ｶﾜｶﾐ ﾋｻﾅｵ	安岡俊浩	斉藤美奈子外８名
ﾖｺﾀ ﾂﾈｵ	宮澤美香	ｱﾝﾎﾞ ﾐﾁｺ
ｵｵｼﾏ ｹﾝｿﾞｳ	佐々木　隆	ﾀｼﾛ ﾖｼﾉﾘ
ｻﾄｳ ﾄﾐｺ	戸来裕之	ﾜﾀﾞ ｼﾞﾕﾝﾉｽｹ
ｻｻｷ ﾉﾌﾞｵ	石山節子	ﾀｹｳﾁ ｼﾕﾝｲﾁ
ﾏﾂﾓﾄ ﾖｼﾌﾐ	池田一句	ｸﾗﾓﾁ ﾄﾓｺ
ﾀｹﾀﾞ ｷﾖｳｽｹ	田中芙美子	ｻｻｷ ｷﾖﾌﾐ
ﾅｶﾎﾗ ﾀｶｺ	大嶋淑子	ｵｲｶﾜ ｶｽﾞｺ
ﾌﾙﾔﾏ ﾋﾃﾞｵ	齋藤和子	ｷﾔﾅｷﾞ ﾏｻﾋｺ
ﾐﾔﾊﾗ ｷﾖﾐ	尾高　正	ﾑﾄｳ ﾀﾀﾞﾖｼ
ｸﾁｷ ﾕｳｺ	佐々木雄作	ﾔﾏﾀﾞ ﾀｴｺ
ﾀﾀﾞ ｶｵﾘ	内田幸廣、明子	ﾂﾙﾐ ﾋﾛﾕｷ
ﾐｼﾞﾊﾞﾀ ﾉﾘｺ	松島千治	ｸﾏｶﾞｲ ｶｽﾞｵ
ｶﾅｻﾞﾜ ﾐﾄﾘ	奈良紀男	橋本徳三
ｸﾆｲ ﾐﾂﾀｶ	蓮尾美緒	金澤正行
大塚一治	髙田　実	小野寺　司
平田正一	滝川忠喜	ｸﾎﾞﾀ ﾂﾖｼ
ﾌｸｻﾞﾜ ﾜｷｺ	山口和子	ｱﾍﾞ ﾉﾘｺ
ｲﾉｳｴ ﾄﾖｶｽﾞ	佐々木光子	ｵｵｷ ﾐﾕｷ
ｻﾄｳ ﾋﾛｼ	佐々木　敏	ｶﾜﾗﾀﾞ ﾔｽｼ
ﾖｼﾀﾞ ｱｷｺ	大和田花恵子	ｽﾀﾞ ﾐｷｺ
ﾏｲﾔ ﾉﾘﾐ	森田典裕	ｾｷｸﾞﾁ ｼﾕｳｲﾁ
ｵｵｻﾜ ｼｭｳｼﾞ	西尾純二	ｽﾐｶﾜ ﾀｶﾕｷ
ﾔﾏｸﾞﾁ ﾉﾘｺ	宮田慶一	ﾖｼｶﾜ ﾊﾂｺ
ｶﾐｲｴ ﾕｳﾀ	宮田　睦	ｷﾗﾗｵｶｻﾞｷ ﾀｹｳﾁ ｹｲｺ
ﾅｶﾑﾗ ｹﾞﾝｼﾞ	江藤嘉紀	ﾜﾀﾅﾍﾞ ﾖｼｴ
ｸﾘﾊﾞﾔｼ ｲｺ	大上雅久	ｻｻｷ ｼｹﾞﾙ
ﾊﾟｵﾗ ﾐｼﾏ (ﾌﾞﾗｼﾞﾙ)	伊香佳恵	ｵｵﾀﾆ ﾕｳﾋ

ｶﾜﾊﾗ ﾐﾁｺ	ｶﾄｳ	ﾅｶﾔﾏ ｼｮｳｺ
ﾑﾗﾀ ﾖｳｺ	ｽｽﾞｷ ｻｵﾘ	ｼﾝﾄﾞｳ ｾｲｼﾞ
ｼﾗｲｼ ｹﾝｼﾞ	ﾑﾗｶﾐ ｱｷﾗ	ｵﾄﾍﾞ ﾄﾓｱｷ
ｶﾄｳ ｼﾝ	ﾅｶﾀﾞ ﾀﾂｼﾞ	ﾎｿﾌﾞﾁ ｽﾐｴ
ｳﾗﾀ ﾔｽｺ	ﾔﾏｼﾀ ﾕｳｺ	ﾑﾄｳ ﾋﾃﾞﾔ
南雲由美子	ﾐﾄﾒ ﾖｳﾍｲ	ｶﾘﾔ ｴﾂｺ
ｵｶﾞﾀ ｷﾐｺ	ｶｶﾞﾔ ｶﾂｱｷ	ｾｷﾈ ﾄﾓｺ
ﾜｺｳ ｼﾝｼﾞ	ﾀｶﾊｼ ﾂﾈｺ	吉田幸作
ﾅｶﾑﾗ ｴｲﾀﾛｳ	ﾀﾅﾍﾞ ｱｷｵ	笹原紀子
ｷﾘｳﾁ ﾄｸｼﾞ	ｳﾁﾑﾗ ﾐﾕｷ	ｲﾁｵｶ ﾀｶｼ
ｲﾄｳ ﾀﾐｵ	井上健志	ﾃﾗｼﾏ ﾋﾛｼ
ｺｽｷﾞ ﾀｶｼ	関　佳子	ｷｸﾁ ﾀｹｼ
ﾅｶｲ ﾂﾄﾑ	吉岡秀洋	ﾀｶﾊｼ ｱｷﾉﾘ
ﾏﾂｸﾗ ｼｹﾞﾐ	池田康生	ﾀｶﾊｼ ﾐﾅ
ｲｼｶﾜ ｻﾄｺ	佐々木浩一郎	ﾌｸｼﾏ ﾏﾕｺ
ｶﾄｳ ﾋﾛｷ	青野恭典	ﾇﾏﾘ ｷﾐｺ
ｻﾄｳ ﾅﾐ	鈴木京子	ｵｶﾀﾞ ﾑﾂﾐ
ｵｵｻﾜ ｶﾖ	澤内早苗	佐々木　正
立岡綾子	増尾實道、依田洋子	北村恵子
ﾅｶﾑﾗ ｸﾐｺ	沼口朝子	笠原紀子
ﾀﾆｸﾞﾁ ｷﾝﾔ	佐々木照穂	小林正喜
ﾐﾅﾐﾉ ﾀｶｵ	金澤　淳	岩城裕司
ﾎｼﾉ ﾀｶｱｷ	ﾐﾅﾄ ｼﾝｺﾞ	原田満佐子
ﾎﾝﾀﾞ ﾉﾌﾞﾋﾛ	ﾀｹﾑﾗ ﾉﾎﾞﾙ	祝田由美
ｱﾎﾞ ﾅｵﾋﾄ	ｼﾓﾔﾏ ﾀｸｵ	亀舎大悟
ｵﾉ ｼﾞｭﾝ	ｼﾐｽﾞ ｽﾐｺ	ｲﾄｳ ｶﾂﾉﾘ
谷萩紀行	ｵﾊﾞﾗ ﾓﾄﾂｸﾞ	ﾊｼﾊﾞ ﾀｶｼ
小林孝雄	ﾔﾏｸﾞﾁ ｶｽﾞﾋｻ	ｱﾄｳﾀﾞ ﾀｸ
ﾅｶﾞﾉ ﾔｽｵ	ｵｶﾞｻﾜﾗ ﾋﾄﾐ	ｵｵﾂｶ ﾏｻｺ
ｶﾄｳ ﾏｻｼ	ｲﾜﾌﾞﾁ ﾋﾛﾕｷ	ﾑﾗｵ ｴｲｼﾞ
ｵﾀﾞｼﾏ ﾕﾀｶ	ｺﾞｳｺﾝ ﾄｼｱｷ	ﾂｷｼﾛ ﾔｽｺ
ﾀﾅｶ ｼﾝﾔ	長谷川　学	ｷﾑﾗ ﾖｳｺ
ｶﾒｲ ﾋｻﾊﾙ	ﾅｶﾆｼ ﾐｶ	ﾌﾅｺｼ ﾄｵﾙ
ﾋｶﾞｼﾀﾞ ﾀﾃﾐｷ	ｺﾊﾔｶﾜ ﾀｹｼ	ﾉｼﾞﾏ ﾏﾕﾐ
ｺﾞﾐﾀﾞｲｽｹ	ｺｳﾉ ﾄﾓﾋﾛ	ﾐﾔ ﾀﾂｵ
ｽｽﾞｷ ｸﾐﾖ	ｲﾁﾊｼ ﾕｳｺ	ﾅｶﾑﾗ ｷｮｳｺ
ｲﾄｳ ｷﾖｼ	ｵｶﾞｻﾜﾗ ﾖｼﾀｶ	ﾅｶｼﾏ ﾚｲｺ
ｵﾉﾀﾞ ﾖｼﾄ	ｶﾜﾗﾀ ﾘｭｳｼﾞ	ｻｻｷ ﾕｷﾉ
ｴﾊﾗ ﾉﾌﾞﾕｷ	ﾏﾂﾓﾄ ﾀﾂｼ	ﾎﾝﾏ ﾋﾛｺ
成田眞木子、福田千草	ｵﾄﾍﾞ ﾐｽﾞｷ、ﾏﾕｺ	ｽｽﾞｷ ｱｷｺ
山崎　道	ﾋﾛﾂｼﾞ ﾏｻﾄ	ｲｵﾊﾗ ｴﾂｺ
岩下　昭	ｵｶﾞﾀ ｶｽﾞｴ	ﾓﾛｽﾞﾐ ｻﾅｴ
祝田マツエ	ﾁﾖｳ ﾉﾌﾞﾕｷ	ｽﾌﾞｲ ﾖｳｺ
堀合誠之進	ﾊﾔｼ ｹｲｺ	ﾅｲﾄｳ ﾚｲｺ
中澤善三次	ｻﾄｳ ﾕｳｼﾞ	下総百司
ｽｽﾞｷ ﾓﾄｺ	乙戸英行	ヒューズ孝子
ｼｮｳﾉ ﾅﾂｺ	齋藤美奈子	小笠原タエ
ｺｼﾞﾏ ﾋﾃﾞﾉﾘ	工藤　茂	巣内松男
ｼｼﾄﾞ ｼﾝｼﾞﾛｳ	ｵｵﾇﾏ ﾋｶﾙ	富樫ひとみ
ｼﾌﾞﾔ ｱｷﾋﾛ	ﾅｶﾞﾀﾆ ｱﾂｼ	佐々木　優

ｶﾄｳ ｱｷｺ	ｵｵﾉ ﾀｹｼ	ｸﾗﾁ ﾐﾉﾙ
広瀬隆之、素子	ﾁﾀﾞ ﾕｷｴ	水元亜紀
ｴﾄｳ ﾖｼﾉﾘ	ﾓｳﾘ ﾖｼｴ	中澤　弘
早野キクエ	ｶﾐﾑﾗ ｷﾐﾋﾛ	古市ヒデ子
山田妙子	平野順子	小林たみ子
ﾏﾂｵｶ ﾁｴ	金澤未咲	前川佳丈
ﾀｶﾊｼ ｼﾞｭﾝｲﾁ、ｹｲｺ	南雲由美子	ﾅｶﾞｻｶ ｻﾅｴ
ｱﾐﾉ ｹｲｺ	ﾜﾀﾅﾍﾞ ｼｭﾝﾔ	ﾔﾏｼﾀ ﾀｴｺ
ｻｲﾄｳ ﾉﾘﾋｺ	ｵﾊﾞﾗ ﾋﾛｼ	ｸﾄﾞｳ ｴｲｺ
ON CAFÉ ｷｸﾁ ﾚｲ	ﾏﾂﾓﾄ ｼﾝﾔ	ｱｷﾔﾏ ﾖｼﾋﾄ
ﾔﾏｻﾞｷ ﾏｻﾙ	石田しんご（品川区議会議員）	ｷﾂﾀ ﾖｼﾃﾙ
ｷｾ ﾊﾙﾋｺ	ｼﾐｽﾞ ｶｽﾞｺ	ｺﾝﾉ ｻﾁｺ
ｷｸﾁ ｶｽﾞﾋﾛ	ｻｻｷ ｼﾞｭﾝｲﾁ	ﾗｲｱﾝ ｼﾞｭﾝｺ
ｲｼｸﾞﾛ ﾄｼﾅ	ｱｵﾇﾏ ﾔｽﾋﾛ	井垣啓一
松原　賢	ｺﾊﾞﾔｶﾜ ｾｲｼﾞ	茂木清一
ﾎﾝﾏ ﾒｸﾞﾐ	ｲﾉｳｴ ﾏｻｵ	飯沼寿雄
ﾀﾞﾃ ﾅｵﾄ	林　高行	ｻｲﾄｳ ﾀﾞｲｷ
浜田高志	ｵｶﾀﾞ ｴﾐ	ｻﾝﾄﾞｳ ｷｮｳｺ
ﾓﾘﾀﾆ ｽｽﾞｺ	ｳｴﾀﾞ ﾀｶﾅﾘ	ﾊﾔｼ ﾐﾂｴ
GERT ENGELS	ﾎｼﾉ ﾌﾐｵ	ｲﾄﾞ ﾄｼﾉﾘ
加藤一也	ﾀｶﾊｼ ﾋﾃﾞﾕｷ	ﾜｶﾏﾂ ﾄﾓｺ
ｲﾅﾊﾞ ｷｮｳｺ	ﾀﾑﾗ ﾘｭｳｼﾞ	ﾖｼﾏﾂ ﾋﾛﾕｷ
ﾆﾁﾔﾏ ｼｭｳｲﾁ	AKAISENSHI	ｵﾀﾞﾅｶ ﾔｽｱｷ
辻　将一	ｵｵﾑﾗ ｸﾆﾋﾃﾞ	山崎せつ
ﾔﾏｶﾞﾀ ｾｲｼﾞ	ｵｶﾓﾄ ﾄﾓｷ	福永真弓
ｷﾉ ﾄﾓﾀｶ	ﾀｶﾊｼ ｾﾂｺ	伊藤奏子
ｲｼｼﾞｷ ﾔｽﾕｷ	ﾊｯﾄﾘ ﾓﾘﾔｽ	ﾓﾘﾀ ﾚｲﾉｽｹ
ﾏｴﾀﾞ ﾏﾐｺ	ﾀｸﾐ ﾄｵﾙ	ﾓﾘﾔ ｱｷﾌﾐ
ｻﾜﾉ ﾐｷｺ	ﾋﾗｻﾜ ﾏｺﾄ	ｻﾄｳ ｱﾂｺ
ｲｹﾓﾄ ｺｳｲﾁ	ｻｻｷ ﾋｻｼ	ﾐﾈ ﾐﾕｷ
ｵｸﾀﾞ ﾄｵﾙ	ﾔﾏｸﾞﾁ ﾅｵｺ	ﾖｼｵｶ ｶｽﾞﾖ
ｲﾄｳ ﾅﾐｺ	藤原美穂	ﾌｼﾞﾓﾄ ｶｽﾞｵ
ｻﾄｳ ﾀｹｼ	ｵｵﾀ ｱﾔｺ	ﾇｶﾃﾞ ｱｷｺ
佐藤祥子	中村良成	ｶﾈｵｶ ﾒｸﾞﾐ
落合峯子	香川由美子	ｷｸﾁ ﾖｳｺ
髙橋敦子	ﾂｶｼﾀ ｹﾝﾀﾛｳ	門間　傳
ﾑﾗｶﾐ ﾃﾂﾔ	甲田真理子	中村富男
宮本広道、千穂	渡辺章次	釜澤　稔
ｷﾀﾑﾗ ｼﾞｭﾝｺ	ｶﾜｼﾏ ﾋﾛｼ	志賀一美
ｲｼｶﾜ ｱｷﾗ	ﾋｼﾞﾔ ｺｳｼﾞ	ｵｶﾓﾄ ｿｳ
ｱﾝﾎﾞ ﾕｳｽｹ	ｽｽﾞｷ ﾘｭｳｲﾁ	ﾀﾆ ｶｽﾞﾋﾛ
中川英治	ｳﾜﾉ ﾅﾂﾐ	ﾕｻ ﾏｻｱｷ
赤土八郎	岸川嘉明	ﾀｶﾀﾞ ﾏｻﾋﾃﾞ
ｼﾊﾞﾀ ﾕｷｴ	勝股恵美子	ｻｷﾔﾏ ﾀｸﾔ
ｵｵﾀ ｼﾝｼﾞﾛｳ	ﾓﾘﾀ ｿｳｽｹ	ﾏｽｶﾜ ﾀｸ
ｼﾝｷﾞﾖｳﾁ ﾋﾛﾕｷ	ﾆｼﾃﾞ ﾏｲｺ	ﾊﾔｼ ｶｽﾞﾖ
横田正美	ｻｺｼ ｶﾖ	ｲﾄｳ ｷｮｳｺ
ﾅｶﾞﾐﾈ ｱｻｺ	大場峰子	ｻﾄｳ ﾐﾁﾋﾛ
ﾂｼﾞ ﾉﾌﾞﾋｺ	三沢栄子	ｼﾐｽﾞ ｻﾀﾞｵ
ﾀｶﾊｼ ﾖｼｵ	松島あさ子	ｶﾜｸﾞﾁ ﾋﾛｼ

和井田恒則	ｵｸﾑﾗ ｶﾂｱ	竹田光江
小林たみ	ｻﾜﾔﾏ ｶｽﾞﾋﾛ	ﾅｶﾑﾗ ｻﾄｼ
ｲｲｽﾞｶ ｹﾝｲﾁ	日保田裕子	ﾀｶﾊｼ ﾕｳ
ﾎﾝﾏ ｱﾂｼ	ｲﾄｳ ｸﾐｺ	夏目輝二
ｽｷﾞﾓﾄ ｱｷﾗ	名和紀之	三ツ林裕巳
ﾌﾙﾀ ﾋﾛｼ	ﾔﾏｵｶ ﾀｹﾋﾄ	高橋　弘
ﾃﾞｺ ｷﾗ ﾕﾘﾅ	大澤國宏	ｵｸﾔﾏ ｱﾂﾉﾘ
ｼﾓｺｳ ｶﾂｴ	富樫智純	ｻﾄｳ ﾑﾂｵ
ﾋﾛｶﾜ ｹﾝｼﾞ	ｱﾍﾞ ｶｽﾞﾐ	Michael Kay
ｵｶﾍﾞ ﾋﾛｺ	ﾐﾔﾓﾄ ﾄｼｱｷ	ｸｼﾓﾄ ｺｳｺ
ﾅｶﾑﾗ ﾏｻﾋﾛ	吉江庸男	ﾔﾏｻﾞｷ ｼﾞｭﾝｺ
ﾔｴｶﾞｼ ﾐｴｺ	ｱｷﾔﾏ ﾕｳｽｹ	ﾌﾙﾀ ﾄｵﾙ
ﾔｴｶﾞｼ ｼｭｳｼﾞ	山本太蔵（しまっていこうぜナイト）	ｲｿﾑﾗ ｾﾂｺ
ﾂｶﾞﾙｲｼ ｼｹﾞﾄ	村田　栄	ｷﾀﾉ ｼﾞｭﾝｺ
ｸﾜｼﾏ ｼｹﾞｽﾐ	ｲﾜｻﾞｷ ﾉﾘｵ	本多まり子
ﾀﾅｶ ﾂﾄﾑ	ｵｲｶﾜ ﾋﾛﾌﾐ	寺島　明
ｺｳﾉ ｴｲｲﾁ	吉田博之	ｼﾞﾛｷﾁｶﾅｲﾀｶﾔ
ﾀｶﾓｸ ﾋﾛﾐﾂ	ｲﾉｳｴ ｼﾝｲﾁ	ﾎｼﾉ ﾌﾐｺ
ﾔﾏﾓﾄ ｱﾀﾙ	服部康彦	ｺｲｹ ｿｳｹﾞﾝ
ｲｼｸﾞﾛ ﾄｼﾅ	ﾊｲﾊﾞ ｺｳｼﾞ	斎藤俊夫
ﾕｳｷ ﾀﾞﾝ	高木るみ子	山口ユキ
ﾅｶｶﾞﾜ ﾏﾕｺ	水上登美子	中村道夫
ﾅｶｲ ﾉﾌﾞﾋｺ	國元拓郎	ｶｼﾞﾑﾗ ﾋﾛﾐ
鈴木三一二	水野雅生ほか２名（東海大学）	ﾌﾙﾀﾞﾃ ﾁｶｺ、ﾉｿﾞﾐ
池田一二	大仙市民	ｶﾐﾎﾞｳ ｶﾂﾉﾘ
安達清美	山田三枝子	ｽｷﾞﾓﾄ ﾏﾅﾌﾞ
ﾉｼﾞﾏ ﾋﾃﾞｱｷ	河林奈都	ｱｻｲ ﾏﾂｵ
岡本能彰	ｽｷﾞﾔﾏ ｼﾝｺﾞ	ﾏﾂﾉﾌﾞ ﾀｶﾉﾘ
ｶｸﾉﾀﾞﾃﾉｶﾝｺｳｷﾞｮｳ	ﾅｶﾞﾜ ﾉﾌﾞﾀｶ	ｵｶﾉ ﾖﾈｿﾞｳ
ﾆｼﾔﾏ ﾐﾖｺ	ﾅｶﾇﾗ ﾏｻﾋﾛ	椿　育郎
ﾌｼﾞｲ ﾅﾗｴ	ｲｶﾞﾗｼ ﾚｲｺ	宮川耕次
ｺｳｻｶ ﾋﾄﾐ	渡辺泰子	小原洋栄
ｻﾄｳ ﾒｸﾞﾐ	畠中　稔	ｶｰﾙ・ﾌﾙｰﾄﾘﾋ・ｼｭﾐｯﾄ、大熊祐子
ｶｼﾏ ﾄｼｵ	増野敏子	渡邊省作
ｱｲﾎﾞｼ ﾏﾕﾐ	久田政則（久田建工）	ﾌｸﾀﾞ ﾀﾂｼ
ｴﾀﾞ ﾅｵｽｹ	ﾊｼﾓﾄ ﾀｹｵ	ﾀｷｻﾜ ﾕﾘｺ
ﾉﾀﾞ ｲｸｺ	ﾀｶﾊｼ ｱｷﾖ	ﾂﾁﾔ ﾄｼｺ
ｽｺｯﾄ ｼｭﾚｰﾀﾞｰ	ｶﾏﾀﾞ ﾉﾌﾞｵ	勝目　紘
上原邦彦（弁護士）	ｻｶﾀ ﾋﾛﾕｷ	川辺
ｻﾜﾀ ﾐｷｺ	渡辺　貞、たみ子	秦　貴信外４名
ﾀｶｷﾞ ﾜﾀﾙ	ｱｸﾂ ｹｲｺ	ｱﾗｲ ﾕﾘ
髙橋　實	ｱｸﾂ ﾕｷﾅｶﾞ	ｲｽﾞﾊﾗ ｻﾅｴ
ｼﾊﾞ ｹﾝｲﾁ	ｵｵﾀ ｷﾖﾀｶ	ｶﾜﾆｼ ﾄﾓﾉﾘ（ﾋﾞﾘ
ｻﾄｳ ｶｵﾘ	ｲﾑﾗ ｶﾂﾞ	ﾀｶﾊｼ ｼｵﾘ
ﾖｺｻﾜ ｻﾄﾐ	野口勝広	前田恵美
ｸﾙﾏ ﾋﾃﾞｷ	野口香織	ｵｵｲｼ ﾉﾌﾞﾔ、ﾖｼｺ
ｵｲｶﾜ ﾏｻｺ	四條智恵	小坂末吉
田﨑廸子	星山久子	ﾂｲｻﾞｷ ｶﾅｺ
ｵｸﾀﾞ ﾕｶ	ﾅｶｲ ﾀｸｼﾞ	舘洞サト
ﾄﾊﾞﾘ ﾀｹｼ	ｱｲﾊﾗ ﾋﾛｼ ﾎｶ９ﾒｲ	ｲｼﾊﾗ ﾀｹｼ

ﾂｲｼﾞ ﾀｶﾕｷ	友末弘行	ｼｹﾞﾅｶﾞ ﾋﾄｼ
落合直美	ﾊﾞﾊﾞ ｺｳ	片山道男
千葉愛子	ｻﾄｳ ｲﾁﾛｳ	ｽｽﾞｷ ﾕｳｺ
水野礼子	ﾅｶﾑﾗ ﾕｷﾋｺ	ﾖｼﾀﾞ ﾓﾓﾖ
ｻﾄｳ ﾋﾛﾕｷ	ﾏﾂﾀﾞ ｹｲｿﾞｳ	ｻｶﾏｷ ﾕｳｲﾁ
堀井野生夫、和恵	ｱﾗｲﾀﾞ ｺｳｼﾞ	田口久枝
ﾀﾌﾞﾁ ｻﾄｼ	田畑輝好	ﾖﾈｻﾞﾜ ﾁｴｺ
西川　忠	小島國男	ｲｼｻﾞｶ ｶﾂｿﾞｳ
社本稲子	中島静子、駿介、遼斗	ｸﾜﾊﾞﾗ ﾌﾐﾖ
ｴﾉﾓﾄ ﾀｸ	ﾂﾔﾏ ｶｽﾞｵ	ﾀｶﾉﾊｼ ﾏｻﾋｺ
ﾅﾂｶﾜ ｼｹﾞﾐ	鳥原耕一	ｷﾑﾗ ﾕﾐｺ
ｻﾜﾀﾞ ｺｳｲﾁ	ﾅｶﾉｿﾉ ﾘﾖｳ	ｷﾑﾗ ﾀｶｼ
ｲｹｳﾗ ﾂｶｻ	ｻﾗｲｴ ﾐﾂﾙ	ﾎﾝﾀﾞ ﾌﾐﾀｹ
大木昭雄	吉野勝司	阿武千賀子
ｵｵﾓﾘ ﾀｴｺ	星　まどか	友野友里子
ﾖｺﾌｼﾞｹ ﾖｺﾌｼﾞﾋﾃ	冨樫秀生	ｶﾀﾉ ﾐﾁｵ
ﾊｷﾞﾜﾗ ﾀｸﾛｳ	ﾏﾂﾓﾄ ﾊｼﾞﾒ	伊藤嘉代
ﾋﾒｼﾞ ｱﾒﾘｶﾔ ﾊﾅﾉ	北川源文	ｻﾄｳ ｼｮｳｺ
ｱｷﾊﾞ ﾌﾐｵ	ｽｶﾞﾜﾗ ﾀﾞｲｽｹ	ﾜｶｲ ﾕｳｽｹ
ｻｶﾀ ﾕｳﾏ	ｷﾑﾗ ﾕｷｺ	ｽｴｵｶ ﾕｷｵ
和田正人、笠原哲夫	ｲﾜﾌﾞﾁ ﾔｽｼﾞ	中川　努
ﾐﾖｼ ﾓﾄﾕｷ	ﾌﾗﾝｸ　ｼﾞｭｼﾞｨｰ	ｲｹﾍﾞ ｼﾝｼﾞ
ｶﾄｳ ｶｽﾞｴ	杉田道子	ﾔﾏﾋﾞ ｸﾐｺ
大多和さと子	ｺﾊﾞﾔｼ ｼｭｳｼﾞ	ﾆﾜ ｶｽﾞﾋﾄ
ﾖｼﾀﾞ ﾀｶｼ	ﾅｶｼﾞﾏ ｻﾄﾐ	ｸﾄﾞｳ ｶｽﾞｴ
新行内佐保子	ｺﾄﾌﾞｷ ｲｻｺ	川邉隆美
ﾂｼﾞﾓﾄ ｶﾂﾕｷ	ﾁﾊﾞ ｱｷﾋｺ	ﾊﾞﾝﾅｲ ﾅﾅﾐ
堂本信子	ﾀｹﾜｷ ﾖｼﾅﾘ	ﾔﾏｸﾞﾁ ﾕｳｺ
大藪　笑	ﾖｼｵ ﾕｳｺ	六平巧己、恵子、光悦
福岡千津子	ﾏﾂﾊﾞﾗ ﾖｼｺ	牧野通雄、和子
ﾌﾙﾔ ﾋﾛｶｽﾞ	ﾔﾏｸﾞﾁ ｸｽｴ ﾏﾂﾓﾄ	齊藤治男
青木弘昌	ｷｼ ﾔｽﾉﾘ	ｷﾀﾀﾞｲ ｱｹｼ
ﾆｼｶﾜ ﾅｵﾄ	葉内信浩	ｷｶﾞﾐ ﾄﾓｺ
小室守靖子	赤根　巌	ﾔﾏｸﾞﾁ ｹｲﾉｽｹ
中橋和男	遠藤正夫	ﾁﾊﾞ ﾜｶｺ
ｵｵｻﾄ ｶｽﾞﾋﾛ	柴田義行	大石ワキ
ｳﾁﾉ ﾖｻﾌﾞﾛｳ	ｱﾍﾞ ﾋﾛｶｽﾞ	古玉智子
ｳﾁﾉ ｲｾ	ﾜｺｳ ﾋﾛｼ	小沢一昭
ｱﾗｲ ﾏﾕﾐ	ｲﾄｳ ﾓﾄｵ	古玉忠昭
ﾂﾎﾞｲ ﾏｻｺ	ｲﾜｾ ﾋﾃﾞｵ	遠藤セツ子
ﾔﾏﾅｶ ｹｲﾀ	ﾜｶｻ ｶﾅｴ	安藤榮八
ｲﾄｳ ｶﾖ	ｽｽﾞｷ ﾋﾛﾕｷ	入澤一市（居酒屋入ちゃん）
岡田米太	ﾌﾅﾔﾏ ﾏﾕﾐ	ｼﾗﾏ ﾃﾙｵ
ﾐﾔﾓﾄ ｶﾅｺ	中川祥子	森川　貫、洋子
ﾊｾｶﾞﾜ ﾌﾐ	中川　操	古川紀子
ﾖｼﾉ ｱｷﾗ	工藤千尋	ｲﾜｲ ｶｽﾞﾕｷ
ﾏﾂﾓﾄ ｱｷﾗ	ｲﾄﾞ ﾏｻﾄｼ	ｻｻｷ ﾕｷ、ｲｼﾜﾀﾘ ﾐﾎ
ｼﾊﾞﾀ ﾄｼﾕｷ	ｻﾜ ｱｽｶ	野村修三（城陽市議会議員）
茨口千枝子	安保貴博	伊藤妙子
大谷幸矢	大月達夫	渡辺孝子

〈学校への義援金〉

	ｵｵﾉ ｹｲｺ	奥田昌也
	神戸康弘	ｺﾊﾞﾔｼ ﾄﾓｺ
雫石町国際交流協会	阿部文慧	西岡京子
宮古市立亀岳小学校	ｺﾞﾄｳ ｶｽﾞﾔ	浦田七雄
（一社）セントラル愛知交響楽団	ｸﾜﾀ ﾏｻﾉﾌﾞ	繁在家　攻
岩手県吹奏楽連盟	小河一郎	小林喜一郎
岩手県小学校長会	土屋喜代美	鈴木美紀
大阪府枚方市立高陵小学校児童会	ﾑﾗｶﾐ ﾄﾓｺ	長澤正文
（有）みちのくチャイルド社	太田則義	小野淑子
盛岡市立河北小学校、上田小学校、緑が丘小学校、高松小学校	田中幹人	羽鳥健司
中津市立山口小学校（大分県）	矢崎邦夫	ｲﾜｵ ｱｷﾗ
滝川市江部乙中学校	ｲｸｻｷ ﾉﾘｺ	榎本陽雄
盛岡市立上田中学校	ｵｵｲｼ ｼｽﾞｺ	ﾑｺｳﾔﾏ ﾕﾐ
玄海そば塾	見田綏夫	ｵｵﾆｼ ﾅｵﾔ
（有）メイ	金田　肇	関　邦雄
横浜市立今宿南小学校	ﾀﾅｶ ﾕﾘｺ	石川洋子
星野仁志	ｵｵｻﾜ ｻﾄｺ	山田泰正（品川区をよく知る会）
髙橋賢一		ｵｵﾓﾘ ﾑﾂｺ
山口立之助、恵子		大越倫広
翠川まき子		佐藤太一
目黒由美		ﾐｽﾞﾉ ﾄﾐｵ
		ｽｽﾞｷ ﾐｷ
		牛田松則
		ｲﾏｲ ﾘｮｳﾍｲ
		川口博士
		前田恵子
		ｱｻｲ ｷﾐｴ
		ｺｶﾞ ｷﾐ
		堂脇広一
		ｻｲﾄｳ ｺｳｲﾁ
		川見健一
		我孫子栄一
		ｱｶﾞﾀ ﾋﾛｵ
		鈴木宗男（新党大地代表）
		上田公一
		大越愛希
		栗山　純
		ｼｹﾞﾏﾂ ｴﾂｺ
		ｺﾞｼｮｳﾒ ﾖｼﾋﾛ
		ｳﾒｻﾞﾜ ﾏｻﾄ
		横前光穂
		田村夢佑亜（子どもチャレンジプロジェクト）
		ｱｶｻｶ ｶｽﾞｺ
		青木美都
		井上　昇
		ｻｶｲ ﾙｲ
		秋山すみ枝
		桔梗和夫
		三村智恵
		ﾏﾙｲ ｼﾞｭﾝｺ